

Anan College				一般教科（平成25年度以前入学生）								Year				2015																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
Department Goals																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
Course Category		Course Title	Course Code	Credit Type	Credits	Class Hours per Week																Instructor	Division in Learning																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
						1st Year				2nd Year				3rd Year				4th Year						5th Year																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
						1st Q	2nd Q	3rd Q	4th Q	1st Q	2nd Q	3rd Q	4th Q	1st Q	2nd Q	3rd Q	4th Q	1st Q	2nd Q	3rd Q	4th Q			1st Q	2nd Q	3rd Q	4th Q																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
General	Commonsory	英語 3	0022	School Credit	3									3		3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													

[illegible]

Anan College		Year	2015		Course Title	英語 3
Course Information						
Course Code		0022		Course Category	General / Compulsory	
Class Format		Lecture		Credits	School Credit: 3	
Department		一般教科（平成25年度以前入学生）		Student Grade	3rd	
Term		Year-round		Classes per Week	3	
Textbook and/or Teaching Materials		Pole Star 他/Reading Adventure 2				
Instructor						
Course Objectives						
1. 300語～400語程度の英文を速読し大意を把握できるようにする。 2. 本文で使われている重要語句と語彙集で取り上げた語句を習得する。 3. 本文および文法参考書で取り上げた文法事項を理解する。 4. リスニング力の向上を図る。						
Rubric						
		Ideal Level		Standard Level		Unacceptable Level
Achievement 1		教科書の読み物と語彙集で学習した重要語句を、主な派生語も含め理解できている。		教科書の読み物と語彙集で学習した重要語句をほぼ理解できている。		教科書の読み物と語彙集で学習した語句に理解できないものが多く残っている。
Achievement 2		教科書の読み物と語彙集で学習した重要語句を、主な派生語も含め理解できている。		教科書の読み物と語彙集で学習した重要語句をほぼ理解できている。		教科書の読み物と語彙集で学習した語句に理解できないものが多く残っている。
Achievement 3		教科書の読み物の英文で学んだ重要語句・重要文法事項を他の英文の理解にも応用できる。		教科書の読み物の英文を、パートごとに重要語句・重要文法事項を含めほぼ理解できた。		教科書の読み物の英文について、理解できないところが多く残っている。
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline						
Style		速読テクニックを意識しながら、300語～400語程度の英文の読解演習を行います。授業や予復習に際しては、ワークブック・補助プリントを併用し、本文に使われた語彙や文法事項を確認し、英語の総合的運動能力の向上を目指します。文法・構文力は、2年次から使用している文法参考書・ワークブックを併用して補強します。語彙力は、1年次から使用している語彙集も用いて補強します。リスニング演習、英語DVDの視聴も行います。				
Notice		1. 授業には必ず英和辞典（電子辞書可）を持参すること。 2. 教科書の語句・語彙集の語句について適宜小テスト、課題自習プリントを課す。 3. 自習課題としてe-learningを行う。 4. 提出物の提出期限は厳守すること。				
Course Plan						
			Theme		Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	Polestar Lesson1~4 Reading Adventures		到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。	
		2nd	Polestar Lesson1~4 Reading Adventures		到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。	
		3rd	Polestar Lesson1~4 Reading Adventures		到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。	
		4th	Polestar Lesson1~4 Reading Adventures		到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。	
		5th	Polestar Lesson1~4 Reading Adventures		到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。	
		6th	Polestar Lesson1~4 Reading Adventures		到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。	
		7th	Polestar Lesson1~4 Reading Adventures		到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。	
		8th	Polestar Lesson1~4 Reading Adventures		到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。	
	2nd Quarter	9th	前期中間試験			
		10th	Polestar Lesson5~7 Reading Adventures Unit4~5+Review2		到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。	
		11th	Polestar Lesson5~7 Reading Adventures Unit4~5+Review2		到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。	
		12th	Polestar Lesson5~7 Reading Adventures Unit4~5+Review2		到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。	
		13th	Polestar Lesson5~7 Reading Adventures Unit4~5+Review2		到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。	
		14th	Polestar Lesson5~7 Reading Adventures Unit4~5+Review2		到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。	
		15th	Polestar Lesson5~7 Reading Adventures Unit4~5+Review2		到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。	
		16th				
2nd Semester	3rd Quarter	1st	Polestar Lesson8~10 Reading Adventures Unit6~7+Review3		到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。	

		2nd	LListeningbText Unit1~10	到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		3rd	Polestar Lesson8~10 Reading Adventures Unit6~7+Review3	到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		4th	LListeningbText Unit1~10	到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		5th	Polestar Lesson8~10 Reading Adventures Unit6~7+Review3	到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		6th	LListeningbText Unit1~10	到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		7th	Polestar Lesson8~10 Reading Adventures Unit6~7+Review3	到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		8th	LListeningbText Unit1~10	到達目標の1から4について、全課の読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
	4th Quarter	9th	後期中間試験	
		10th	Polestar	到達目標の1から4について、全課の構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		11th	Polestar	到達目標の1から4について、全課の構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		12th	Polestar	到達目標の1から4について、全課の構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		13th	Polestar	到達目標の1から4について、全課の構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		14th	Polestar	到達目標の1から4について、全課の構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		15th	Polestar	到達目標の1から4について、全課の構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	Examination	Presentation	Mutual Evaluations between students	Behavior	Portfolio	Other	Total
Subtotal	60	0	0	15	15	10	100
Basic Proficiency	60	0	0	15	15	10	100
Specialized Proficiency	0	0	0	0	0	0	0
Cross Area Proficiency	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2015		Course Title	微分積分
Course Information						
Course Code	0023			Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture			Credits	School Credit: 4	
Department	一般教科（平成25年度以前入学生）			Student Grade	3rd	
Term	Year-round			Classes per Week	4	
Textbook and/or Teaching Materials	微分積分 改訂版、矢野健太郎編、裳華房/新課程チャート式数学Ⅲ 数研練習ドリル数学Ⅲ					
Instructor						
Course Objectives						
1. 関数の極限の意味を理解していろいろな関数の極限計算ができる。 2. 導関数の公式および種々の計算技法を習得して微分計算ができて接線や極値が求められる。 3. 基本的な関数の不定積分と定積分の計算ができて面積や長さ計算に応用できる。 4. 偏微分の基本的な計算ができて2変数関数の極値が求められる。 5. 重積分の基本的な計算ができて体積計算に応用できる。						
Rubric						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
到達目標1	関数の極限の意味を理解していろいろな関数の極限計算が常時できる。		関数の極限の意味を理解していろいろな関数の極限計算ができる。		関数の極限計算ができない。	
到達目標2	導関数の公式および種々の計算技法を習得して微分計算が常時でき、接線や極値などを常時求められる。		導関数の公式および種々の計算技法を習得して微分計算ができ、接線や極値が求められる。		導関数の公式および種々の計算技法を習得せず、微分の計算やその応用ができない。	
到達目標3	積分の公式や置換積分など種々の計算技法を習得して積分計算が常時でき、面積などにも常時応用できる。		積分の公式や置換積分など種々の計算技法を習得して積分計算ができ、面積などに応用できる。		積分計算ができない。定積分を面積計算に応用できない。	
到達目標4	2次までの偏微分、合成関数の偏微分、陰関数の計算が常時でき、2変数関数の極致が求められる。		2次までの偏微分、合成関数の偏微分、陰関数の計算ができ、2変数関数の極致が求められる。		偏導関数が計算できない。偏導関数の応用ができない。	
到達目標5	累次積分が常時計算できる。重積分が常時計算できる。重積分を応用して体積計算などが常時できる。		累次積分や重積分の計算ができる。重積分を応用して体積計算などができる。		累次積分や誦積分の計算ができない。重積分が応用できない。	
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	数学は工業高専において根幹となる科目である。本科目では極限、微分法および積分法についての理解を深め、関数の解析、図形の計量に応用できる知識と技能を習得する。また偏微分、重積分の基本的な考え方を理解し、計算力を養う。					
Style						
Notice	1. 授業に集中し、効率的に学習する方法を確立すること。予習復習が必須である。 2. 定期試験はもちろん重要であるが、平常の小テスト、提出物等での努力を怠らないこと。 3. 課題等提出物の提出期限を厳守すること。					
Course Plan						
			Theme		Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	微分 数列の極限		いろいろな数列の極限を求めることができる（不定形の意味も理解している）。	
		2nd	無限数列の和		基本的な級数の収束・発散を調べ、その和を求めることができる。	
		3rd	関数の極限		いろいろな数列の極限を求めることができ、ロピタルの定理も使える。	
		4th	微分の計算		三角関数・指数関数・対数関数の導関数を求めることができる。	
		5th	逆三角関数とその微分		逆三角関数を理解している。逆三角関数の導関数を求めることができる。	
		6th	微分の応用 増減、極値、グラフ種々の微分		関数の増減表がかけ、関数の極値を求め、グラフの概形をかくことができる。	
		7th	微分の応用 増減、極値、グラフ種々の微分		高次導関数の計算、媒介変数表示された関数の微分計算ができる。	
		8th	前期中間試験			
	2nd Quarter	9th	不定積分		分数関数・無理関数・三角関数・指数関数・対数関数の不定積分の計算ができる。	
		10th	不定積分		分数関数・無理関数・三角関数・指数関数・対数関数の不定積分の計算ができる。	
		11th	不定積分		分数関数・無理関数・三角関数・指数関数・対数関数の不定積分の計算ができる。	
		12th	不定積分		置換積分および部分積分を用いて、不定積分を求めることができる。	
		13th	不定積分		置換積分および部分積分を用いて、不定積分を求めることができる。	
		14th	不定積分		置換積分および部分積分を用いて、不定積分を求めることができる。	

2nd Semester		15th	不定積分	置換積分および部分積分を用いて、不定積分を求めることができる。
		16th		
	3rd Quarter	1st	定積分 定積分の計算技法	置換積分および部分積分を用いて、定積分を求めることができる。
		2nd	定積分 定積分の計算技法	置換積分および部分積分を用いて、定積分を求めることができる。
		3rd	定積分 定積分の計算技法	分数関数・無理関数・三角関数・指数関数・対数関数の定積分の計算ができる。
		4th	定積分 定積分の計算技法	分数関数・無理関数・三角関数・指数関数・対数関数の定積分の計算ができる。
		5th	定積分の応用	基本的な曲線で囲まれた図形の面積、体積、曲線の長さを求めることができる。
		6th	定積分の応用	基本的な曲線で囲まれた図形の面積、体積、曲線の長さを求めることができる。
		7th	定積分の応用	基本的な曲線で囲まれた図形の面積、体積、曲線の長さを求めることができる。
		8th	後期中間試験	
	4th Quarter	9th	偏微分 種々の偏微分計算	2変数関数の定義域やグラフを理解し、高次偏微分まで計算できる。
		10th	偏微分 種々の偏微分計算	2変数関数の定義域やグラフを理解し、高次偏微分まで計算できる。
		11th	偏導関数の応用	偏導関数を用いて、基本的な2変数関数の極値を求めることができる。
		12th	国立高専学習到達度試験	
		13th	重積分 累次積分と重積分	2重積分の定義を理解し、2重積分を累次積分に変形し計算できる。
		14th	極座標変換	順序積分の変更や極座標変換して重積分の計算ができる。
		15th	重積分の応用	2重積分を用いて基本的な立体の体積を求めることができる。
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	Total
Subtotal	40	0	0	0	10	50	100
基礎的能力	40	0	0	0	10	50	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2015		Course Title	微分方程式		
Course Information								
Course Code		0024		Course Category		General / Compulsory		
Class Format		Lecture		Credits		School Credit: 1		
Department		一般教科（平成25年度以前入学生）		Student Grade		3rd		
Term		Second Semester		Classes per Week		2		
Textbook and/or Teaching Materials		微分積分（裳華房）						
Instructor								
Course Objectives								
1.極座標表示と極方程式の基本的な計算ができる。 2.変数分離形・同次形・1階微分方程式など基本的な微分方程式の一般解を求めることができる。 3.定数係数2階線形微分方程式の一般解を求めることができる。 4.変数分離形・同次形・1階線形など基本的な微分方程式の特殊解を求めることができる。								
Rubric								
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
到達目標1		極座標と直交座標を相互に変換ができ、極方程式と直交座標に関する方程式を相互に片kんできる。		極座標を直交座標に変換でき、極方程式を直交座標に関する方程式に変換できる。		極座標を直交座標に変換できない。		
到達目標2		与えられた微分方程式が変数分離形、同次形、1階線形化を判定でき、一般解を求めることができる。		変数分離形、同次形、1階線形方程式の一般解を求めることができる。		変数分離形方程式を、積分形に変換できないうえに定数変化法を理解できない。		
到達目標3		非斉次項が斉次方程式の一般解に含まれている場合にも特殊解を求めることができる。		斉次方程式の一般解を求めることができ、非斉次方程式の特殊解を求めることができる。		補助方程式を求めることができない。		
到達目標4				初期条件や境界条件を理解し、一般解から特殊解を求めることができる。		初期条件・境界条件を利用して特殊解を求めることができない。		
Assigned Department Objectives								
Teaching Method								
Outline		数学は工業高専において根幹となる科目である。本授業では、最初に極座標と極方程式について学習し、その後、基本的な微分方程式の解法を習得し、計算力を養う。						
Style								
Notice		授業に集中し効率的に学習する方法を確立すること。予習復習は必須である。定期試験の勉強も重要であるが、平常の小テストの勉強、提出物なども努力を怠らないこと。課題など提出物の期限は厳守すること。						
Course Plan								
			Theme		Goals			
2nd Semester	3rd Quarter	1st	極座標		極座標の表し方を理解し、直交座標に変換でき、その逆もできる。			
		2nd	極方程式		極方程式を理解し、直交座標に関する方程式に変換でき、その逆もできる。			
		3rd	極方程式		極方程式を理解し、直交座標に関する方程式に変換でき、その逆もできる。			
		4th	微分方程式と解		微分方程式を理解し、与えられた関数が一般解か特殊解か判定できる。			
		5th	変数分離形微分方程式の解法		変数分離形微分方程式の一般解を求めることができる。			
		6th	変数分離形微分方程式の解法		変数分離形微分方程式の一般解を求めることができる。			
		7th	同次形微分方程式の解法		同次形微分方程式の一般解を求めることができる。			
		8th	【後期中間試験】					
	4th Quarter	9th	1階線形微分方程式の解法		定数変化法により1階線形微分方程式の一般解を求めることができる。			
		10th	1階線形微分方程式の解法		定数変化法により1階線形微分方程式の一般解を求めることができる。			
		11th	定数係数2階線形微分方程式の解法		斉次方程式を理解し、一般解を求めることができる。			
		12th	定数係数2階線形微分方程式の解法		斉次方程式を理解し、一般解を求めることができる。			
		13th			非斉次方程式を理解し、特殊解と一般解を求めることができる。			
		14th			非斉次方程式を理解し、特殊解と一般解を求めることができる。			
		15th			非斉次方程式を理解し、特殊解と一般解を求めることができる。			
		16th	【後期期末試験】 【答案返却】					
Evaluation Method and Weight (%)								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	レポート・課題	Total
Subtotal	90	0	0	0	5	0	5	100
基礎的能力	90	0	0	0	5	0	5	100

專門的能力	0	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2015		Course Title	数学C		
Course Information								
Course Code		0025			Course Category		General / Compulsory	
Class Format		Lecture			Credits		School Credit: 1	
Department		一般教科（平成25年度以前入学生）			Student Grade		3rd	
Term		First Semester			Classes per Week		2	
Textbook and/or Teaching Materials		線形代数(裳華房)/						
Instructor		Yamada Kohtarō						
Course Objectives								
1.行列の和・差・積・実数倍・行列式の値の計算ができる。 2.掃き出し法や行列を用いて連立方程式を解くことができ、逆行列を求めることができる。 3.1次変換による簡単な図形の像・原像を求めることができる。 4.行列の固有値・固有ベクトルを求めて、対角化ができる。								
Rubric								
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
到達目標1		行列式の性質を利用して行列式の値の計算ができる。		行列の和差積、および行列式の値の計算ができる。		4次の行列式の計算ができないし、行列の積も正確に計算できない。		
到達目標2		掃き出し法により、正方行列の正則性を判定できる。		掃き出し法や行列を用いて連立方程式を解くことができ、逆行列を求めることができる。		掃き出し法により逆行列を求めることができない。		
到達目標3		1次変換井よる簡単な図形の原像を求めることができる。		基礎的な1次変換を行列で表すことができ、1次変換による簡単な図形の像を求めることができる。		基礎的な1次変換を行列で表すことができない。		
到達目標4		正方行列の累乗を対角化を利用して計算することができる。		2次と3次の正方行列の固有値と固有ベクトルを求めることができ、それを用いて対角化できる。		2次正方行列の固有値と固有ベクトルを求めることができない。		
Assigned Department Objectives								
Teaching Method								
Outline		数学は工業高専において根幹となる科目である。本授業では、工学への応用で重要な役割を果たす行列と行列式の計算およびその応用を学習する。						
Style								
Notice		授業に集中し、効率的に学習する方法を確立すること。予習復習は必須である。 定期試験の勉強はもちろん重要であるが、平常の小テストの勉強、提出物なども努力を怠らないこと。 課題など提出物は提出期限を厳守すること。						
Course Plan								
1st Semester	1st Quarter	1st	Theme 行列式			Goals 2次・3次の行列式の値の計算ができる。		
		2nd	行列式			行列式の展開を利用して4次の行列式の値の計算ができる。 行列式の性質を利用して行列式の値の計算ができる。		
		3rd	行列			行列の和・差・積・実数倍の計算ができる。		
		4th	連立1次方程式・逆行列			2次正方行列の逆行列を求めることができる。		
		5th	連立1次方程式・逆行列			掃き出し法により連立1次方程式の解、3次正方行列の逆行列を求めることができる。		
		6th	連立1次方程式・逆行列			掃き出し法により連立1次方程式の解、3次正方行列の逆行列を求めることができる。		
		7th	前期中間試験					
		8th	1次変換			対称移動・回転など基本的な1次変換を行列で表すことができる。		
	2nd Quarter	9th	1次変換			1次変換の合成変換・逆変換を求めることができる。		
		10th	1次変換			直線など基本的な平面図形の、1次変換による像・原像を求めることができる。		
		11th	1次変換			2次・3次の正方行列の固有値・固有ベクトルを求めることができる。		
		12th	固有値と固有ベクトル			正方行列の固有値・固有ベクトルを用いて対角化できる。		
		13th	固有値と固有ベクトル			正方行列の累乗を対角化を利用して計算することができる。		
		14th	固有値と固有ベクトル			正方行列の累乗を対角化を利用して計算することができる。		
		15th	固有値と固有ベクトル			正方行列の累乗を対角化を利用して計算することができる。		
		16th	前期期末試験 答案返却					
Evaluation Method and Weight (%)								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	小テスト	Total
Subtotal	90	0	0	0	5	0	5	100
基礎的能力	90	0	0	0	5	0	5	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	0

分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	0
---------	---	---	---	---	---	---	---	---

Anan College		Year	2015		Course Title	日本史
Course Information						
Course Code	0026			Course Category	General / Elective	
Class Format	Lecture			Credits	School Credit: 2	
Department	一般教科（平成25年度以前入学生）			Student Grade	3rd	
Term	Year-round			Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	高校日本史B（山川出版社）/写真資料集：日本史のアーカイブ（とうほう）					
Instructor						
Course Objectives						
1.古代から現代にいたる我が国の歴史の基礎的知識について説明できる。 2.過去のいろいろな出来事を歴史資料を通じて明らかにし、時間の流れに即して因果関係を説明できる。 3.世界史的視野に立つて歴史の展開を考察することで、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身に付けられる。						
Rubric						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
到達目標1	古代から現代に至る我が国の歴史の基礎的知識について、詳細に説明できる。		古代から現代に至る我が国の歴史の基礎的知識について、その概要を説明できる。		古代から現代に至る我が国の歴史の基礎的知識について、十分に説明できない。	
到達目標2	日本の歴史について、詳細に説明できる。		日本の歴史の流れについて、その概略を説明できる。		日本の歴史の流れについて、十分に説明できない。	
到達目標3	国際社会に生きる日本人としての自覚について、歴史の展開に即して詳細に説明できる。		国際社会に生きる日本人としての自覚について、歴史の展開に即して説明できる。		国際社会に生きる日本人としての自覚について、歴史の展開に即して十分に説明できない。	
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	日本史を学ぶことによって、わが国の伝統や文化を理解し、国際社会に生きる日本人としての資質を養う。特に日本文化の特色・人々の生活・都市の形成・地域同士の交流などに着目して、日本の諸地域における歴史の流れについて、教科書や歴史資料を通して理解を深める。					
Style						
Notice	教科書に加えて、通常授業では歴史資料集や学習プリント等を使用する。また、ノート提出も予定しているので、「講義をしっかりと聴き、ノートをしっかりとる」事を心がけてほしい。					
Course Plan						
			Theme	Goals		
1st Semester r	1st Quarter	1st	原始・古代	古代社会の形成や律令国家の形成、貴族政治の展開について理解し説明できる。（旧石器時代～平安中期）		
		2nd	原始・古代	古代社会の形成や律令国家の形成、貴族政治の展開について理解し説明できる。（旧石器時代～平安中期）		
		3rd	原始・古代	古代社会の形成や律令国家の形成、貴族政治の展開について理解し説明できる。（旧石器時代～平安中期）		
		4th	原始・古代	古代社会の形成や律令国家の形成、貴族政治の展開について理解し説明できる。（旧石器時代～平安中期）		
		5th	原始・古代	古代社会の形成や律令国家の形成、貴族政治の展開について理解し説明できる。（旧石器時代～平安中期）		
		6th	【前期中間試験】			
		7th	中世	武家社会の形成や成長の様相について理解し説明できる。（平安後期～室町）		
		8th	中世	武家社会の形成や成長の様相について理解し説明できる。（平安後期～室町）		
	2nd Quarter	9th	中世	武家社会の形成や成長の様相について理解し説明できる。（平安後期～室町）		
		10th	中世	武家社会の形成や成長の様相について理解し説明できる。（平安後期～室町）		
		11th	中世	武家社会の形成や成長の様相について理解し説明できる。（平安後期～室町）		
		12th	近世（1）	幕藩体制の成立の様相について理解し説明できる。（安土・桃山～江戸初期）		
		13th	近世（1）	幕藩体制の成立の様相について理解し説明できる。（安土・桃山～江戸初期）		
		14th	近世（1）	幕藩体制の成立の様相について理解し説明できる。（安土・桃山～江戸初期）		
		15th	近世（1）	幕藩体制の成立の様相について理解し説明できる。（安土・桃山～江戸初期）		
		16th	【前期末試験】 【答案返却時間】			
2nd Semester r	3rd Quarter	1st	近世（2）	幕藩体制の展開や動揺の様相について理解し説明できる。（江戸中期・後期）		
		2nd	近世（2）	幕藩体制の展開や動揺の様相について理解し説明できる。（江戸中期・後期）		
		3rd	近世（2）	幕藩体制の展開や動揺の様相について理解し説明できる。（江戸中期・後期）		
		4th	近代（1）	近代国家の成立の様相について理解し説明できる。（幕末～明治）		

		5th	近代（1）	近代国家の成立の様相について理解し説明できる。 （幕末～明治）
		6th	近代（1）	近代国家の成立の様相について理解し説明できる。 （幕末～明治）
		7th	近代（1）	近代国家の成立の様相について理解し説明できる。 （幕末～明治）
		8th	【後期中間試験】	
	4th Quarter	9th	近代（2）	近代日本とアジアの関係について理解し説明できる。 （大正～戦前昭和）
		10th	近代（2）	近代日本とアジアの関係について理解し説明できる。 （大正～戦前昭和）
		11th	近代（2）	近代日本とアジアの関係について理解し説明できる。 （大正～戦前昭和）
		12th	現代	現代の世界と日本との関わりについて説明できる。 （戦後昭和～平成）
		13th	現代	現代の世界と日本との関わりについて説明できる。 （戦後昭和～平成）
		14th	現代	現代の世界と日本との関わりについて説明できる。 （戦後昭和～平成）
		15th	現代	現代の世界と日本との関わりについて説明できる。 （戦後昭和～平成）
		16th	【学年末試験】 【答案返却時間】	

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	レポート・課題	Total
Subtotal	80	0	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2015		Course Title	体育
Course Information						
Course Code	0027			Course Category	General / Elective	
Class Format	Lecture			Credits	School Credit: 2	
Department	一般教科（平成25年度以前入学生）			Student Grade	3rd	
Term	Year-round			Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials						
Instructor	Arai Osamu					
Course Objectives						
1.互いに協力し合い、主体的に練習やゲームの方法を工夫して運動を実践できる。 2.自己の能力に応じて、運動の技能や体力を身につけることができる。 3.運動・活動中は安全に留意して行動できる。						
Rubric						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
到達目標1	自己及び、仲間の取るべき行動を適切に判断し、主体的に練習やゲームを工夫し、活動を円滑に実践できる。		自己の取るべき行動を判断し、他人と協力しながら練習やゲームを工夫し、活動に参加できる。		自己の取るべき行動が判断できない。または他人と協力する姿勢がみられず、活動に参加できない。	
到達目標2	自己の能力を理解し、適切なプログラムを作成して運動の技能や体力を身につけることができる。		教員が指示したプログラムに従い、運動の技能や体力を身につけることができる。		教員の指示に従わず、運動の技能や体力を身につけることができない。	
到達目標3	活動中、自己のみならず仲間の安全に留意し、必要に応じて危険を回避する行動を取ることができる。		活動中、事故の安全に留意し、必要に応じて危険を回避する行動を取ることができる。		活動中、安全に留意して行動できない。	
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	運動を行うことにより、運動することの楽しさや喜びの実感、運動に必要な技能の習得及び、体力の向上を図る。合わせて自ら意欲的に運動に取り組む姿勢や、生涯に渡って運動に親しむ態度を育てる。特に本授業では、生涯スポーツの観点から、自己の能力や興味関心に応じて種目を選択させ、運動を安全かつ楽しみながら実践できるよう、工夫・協力しながら学習することに重点を置く。					
Style						
Notice	普段から健康管理を心がけ、風邪などにより授業を見学・欠席することの無いよう気をつけてください。 学校指定の体操服で活動してください。 天候等、やむを得ない事情により、実施種目は変更されることがあります。 体育大会は授業時数に含まれますので、欠席しないようにしてください。					
Course Plan						
			Theme	Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	種目選択と実践	(1)各種目のルールを理解し説明できる。		
		2nd	種目選択と実践	(2)各種目の基本的な個人技能を習得する。		
		3rd	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		4th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		5th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		6th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		7th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		8th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
	2nd Quarter	9th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		10th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		11th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		12th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		13th	体育大会(前期)	(1)参加する種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。		
		14th	体育大会(前期)	(1)参加する種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。		
		15th	体育大会(前期)	(1)参加する種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。		
		16th				
2nd Semester	3rd Quarter	1st	種目選択と実践	(1)各種目のルールを理解し説明できる。		
		2nd	種目選択と実践	(2)各種目の基本的な個人技能を習得する。		
		3rd	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		4th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		5th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		6th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		7th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		8th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
	4th Quarter	9th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		10th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		

		11th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。
		12th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。
		13th	体育大会(後期)	(1)参加する種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。
		14th	体育大会(後期)	(1)参加する種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。
		15th	体育大会(後期)	(1)参加する種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	Total
Subtotal	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	100	100

Anan College		Year	2015		Course Title	日本語総合
Course Information						
Course Code	0028			Course Category	General / Elective	
Class Format	Lecture			Credits	School Credit: 2	
Department	一般教科（平成25年度以前入学生）			Student Grade	3rd	
Term	Year-round			Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	高専日本語アビリティⅡ（阿南高専国語）/級別漢字学習帳7級～2級（東京法令出版）					
Instructor	Nishikori Hirofumi					
Course Objectives						
Rubric						
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
到達目標1		古文・漢文の時代背景・大意を適切に説明し、よどみなく暗唱できる。		古文・漢文の時代背景・大意を説明し、暗唱できる。		古文・漢文の時代背景・大意を説明できない。
到達目標2		情報を収集・選択・構成を適切に行い、効果的に活用できる。		情報を収集・選択・構成を適切に行い、活用できる。		情報を収集・選択・構成を行えない。
到達目標3		論理的で、かつ、効果的な口頭表現ができ、その向上方法を説明できる。		論理的で、かつ、効果的な口頭表現ができる。		論理的な口頭表現ができない。
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline		日本語の表現に関する基礎知識・技術を修得し、論理的なコミュニケーション能力を養うことを目的とする。授業は、表現に関する実践を基本とする。また、古文・漢文の鑑賞により社会を見つめる視野拡大の起点を獲得し、社会的データの活用や漢字学習により理解や表現の力を養う。				
Style						
Notice		毎時間の冒頭に「読書の時間」を設けるので、各自で本を用意すること（マンガ、雑誌、テキストを除く）。				
Course Plan						
			Theme	Goals		
1st Semester r	1st Quarter	1st	ガイダンス	シラバスにより、到達目標、表代わり衣、達成度基準等を理解する。		
		2nd	情報の信頼性	情報の信頼性の確保について、説明できる。		
		3rd	情報の収集と分類	ブレーン・ストーミング法、K・J法について説明し、実践できる。		
		4th	情報の収集と分類	ブレーン・ストーミング法、K・J法について説明し、実践できる。		
		5th	情報の収集と分類	ブレーン・ストーミング法、K・J法について説明し、実践できる。		
		6th	口頭表現	口頭表現の特徴について、説明できる。		
		7th	口頭表現	口頭表現の特徴について、説明できる。		
		8th	口頭表現	口頭表現の特徴について、説明できる。		
	2nd Quarter	9th	【前期中間試験】			
		10th	漢字とかな	漢字とかな等について、説明できる。		
		11th	漢字とかな	漢字とかな等について、説明できる。		
		12th	漢字とかな	漢字とかな等について、説明できる。		
		13th	プレゼンテーション	情報を収集・選択・活用し、図表を用いたプレゼンテーションを実践できる。		
		14th	プレゼンテーション	情報を収集・選択・活用し、図表を用いたプレゼンテーションを実践できる。		
		15th	プレゼンテーション	情報を収集・選択・活用し、図表を用いたプレゼンテーションを実践できる。		
		16th	プレゼンテーション	情報を収集・選択・活用し、図表を用いたプレゼンテーションを実践できる。		
2nd Semester r	3rd Quarter	1st	【前期期末試験】 【答案返却】			
		2nd	古文	枕草子・方丈記・徒然草の背景・大意を説明し、暗唱できる。		
		3rd	古文	枕草子・方丈記・徒然草の背景・大意を説明し、暗唱できる。		
		4th	古文	枕草子・方丈記・徒然草の背景・大意を説明し、暗唱できる。		
		5th	古文	枕草子・方丈記・徒然草の背景・大意を説明し、暗唱できる。		
		6th	漢文	論語の背景・大意を理解し、暗唱できる。		
		7th	【後期中間試験】			
		8th	小論文	情報を収集・選択・構成し、論理的に意見を述べることができる。		
	4th Quarter	9th	小論文	情報を収集・選択・構成し、論理的に意見を述べることができる。		

		10th	小論文	情報を収集・選択・構成し、論理的に意見を述べる ことができる。
		11th	小論文	情報を収集・選択・構成し、論理的に意見を述べる ことができる。
		12th	小論文	情報を収集・選択・構成し、論理的に意見を述べる ことができる。
		13th	グループ・ディスカッション	グループ・ディスカッション技法を理解し、実践で きる。
		14th	グループ・ディスカッション	グループ・ディスカッション技法を理解し、実践で きる。
		15th	【学年末試験】 【答案返却】	
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	Total
Subtotal	70	5	0	0	20	5	100
基礎的能力	70	5	0	0	20	5	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2015		Course Title	政治社会
Course Information						
Course Code	0029			Course Category	General / Elective	
Class Format	Lecture			Credits	School Credit: 2	
Department	一般教科（平成25年度以前入学生）			Student Grade	3rd	
Term	Year-round			Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	教養の政治学・経済学（学術図書出版社）/憲法[第五版]（岩波書店）					
Instructor	Imada Hiroyuki					
Course Objectives						
1.民主政治の基本理論として社会契約説を説明できる。 2.日本国憲法を基軸に現在の政治制度を説明できる。 3.現在の国民経済や経済関連の諸政策を説明できる。						
Rubric						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
到達目標1	民主政治を基本理論として社会契約説を説明できる。		社会契約説の基本枠組みを説明できる。		社会契約説の本枠組みを説明できない。	
到達目標2	現在の政治制度の基本原理・制度・運用を説明できる。		現在の政治制度の基本構造を説明できる。		現在の政治制度の基本構造を説明できない。	
到達目標3	現在の国民経済の問題点や経済関連の諸政策の課題を説明できる。		現在の国民経済や経済関連の諸政策を説明できる。		現在の国民経済や経済関連の諸政策を説明できない。	
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	この科目では、民主政治の在り方と経済社会の仕組みについて包括的に学習する。授業では、まず、民主主義の基本原理を理解したうえで、現在の政治制度を、日本国憲法を基軸に考察する。今日的な人権問題や社会問題についても学ぶ。次いで、経済の基礎概念を理解した上で、現在の国民経済の把握方法や経済関連の諸政策を考察する。現代企業論についても学ぶ。以上により、政治と経済の基本的論点について説明できる能力を身につける。					
Style						
Notice	日常的に、政治や経済の問題について主体的に関心を持つようにしてください。時事的な話題や自分の身の回りの政治や経済に目を向け、授業との関連付けをしましょう。					
Course Plan						
			Theme	Goals		
1st Semester r	1st Quarter	1st	政治原論	社会と政治、社会契約説の基本枠組みについて説明できる。		
		2nd	政治原論	社会と政治、社会契約説の基本枠組みについて説明できる。		
		3rd	政治各論「大日本帝国憲法」	天皇大権、統治機構、臣民の権利について説明できる。		
		4th	政治各論「大日本帝国憲法」	天皇大権、統治機構、臣民の権利について説明できる。		
		5th	政治各論「日本国憲法」 国民主権・権力分立	主権、国民主義、権力分立について説明できる。		
		6th	政治各論「日本国憲法」 国民主権・権力分立	主権、国民主義、権力分立について説明できる。		
		7th	前期中間試験			
		8th	国会・選挙制度・政党	国民代表、選挙制度、立法権、国会制度、政党について説明できる。		
	2nd Quarter	9th	国会・選挙制度・政党	国民代表、選挙制度、立法権、国会制度、政党について説明できる。		
		10th	国会・選挙制度・政党	国民代表、選挙制度、立法権、国会制度、政党について説明できる。		
		11th	国会・選挙制度・政党	国民代表、選挙制度、立法権、国会制度、政党について説明できる。		
		12th	内閣・官僚制	議院内閣制、行政権、内閣制度、官僚制、行政組織などを説明できる。		
		13th	内閣・官僚制	議院内閣制、行政権、内閣制度、官僚制、行政組織などを説明できる。		
		14th	内閣・官僚制	議院内閣制、行政権、内閣制度、官僚制、行政組織などを説明できる。		
		15th	内閣・官僚制	議院内閣制、行政権、内閣制度、官僚制、行政組織などを説明できる。		
		16th	前学期末試験 答案返却時間			
2nd Semester r	3rd Quarter	1st	裁判所・基本的人権	司法権、裁判制度、基本的人権、司法審査制について説明できる。		
		2nd	裁判所・基本的人権	司法権、裁判制度、基本的人権、司法審査制について説明できる。		
		3rd	裁判所・基本的人権	司法権、裁判制度、基本的人権、司法審査制について説明できる。		
		4th	裁判所・基本的人権	司法権、裁判制度、基本的人権、司法審査制について説明できる。		

		5th	圧力団体・世論	日本の圧力団体、世論について説明できる。
		6th	経済原論	経済理論、経済体制、経済主体、経済活動について説明できる。
		7th	経済各論 市場経済と価格機構	市場機構、独占・寡占について説明できる。
		8th	後期中間試験	
	4th Quarter	9th	経済各論 国民経済	国民所得、国富について説明できる。
		10th	経済各論 国民経済	国民所得、国富について説明できる。
		11th	経済各論 景気循環	景気変動、景気指標について説明できる。
		12th	経済各論 経済の諸政策	金融政策、財政政策、経済政策について説明できる。
		13th	経済各論 経済の諸政策	金融政策、財政政策、経済政策について説明できる。
		14th	経済各論 経済の諸政策	金融政策、財政政策、経済政策について説明できる。
		15th	経済各論 現代企業論	企業組織、企業の社会的責任について説明できる。
		16th	後学期末試験 答案返却時間	

Evaluation Method and Weight (%)							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	Total
Subtotal	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	60	0	0	0	30	0	90
専門的能力	10	0	0	0	0	0	10
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2015		Course Title	英会話英作文
Course Information						
Course Code	0030			Course Category	General / Elective	
Class Format	Lecture			Credits	School Credit: 2	
Department	一般教科（平成25年度以前入学生）			Student Grade	3rd	
Term	Year-round			Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	New Favorite English Expression II（東京書籍）、同準拠Workbook Task-based/					
Instructor	Ogasawara Maiko					
Course Objectives						
1. スピーキング活動では、教科書の内容を十分理解した上で、発話練習を怠らず、積極的に自分の意見を発現できる。 2. 学習した構文を応用して、100Words程度の自由作文は、ほとんどミスがないように書けるようになる。						
Rubric						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
到達目標1	教科書のトピックに関する内容を十分理解し、自身を持って積極的に発表できる。		教科書の内容を理解し、発表を実践できる。		教科書の内容が十分理解できず、発表を実践することが困難である。	
到達目標2	構文を理解し、それらを応用することができ、自分の考えを英語で表現できる。		構文を理解し、指導者のサポートによりそれを応用できる。英語で自己表現しようとする姿勢がある。		構文が十分理解できず、応用が困難であり、まとまった考えを英語で表現できない。	
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	スピーキング活動ではグループやペアでの活動で発話の機会を持つ。前期ではプレゼンテーション、後期ではディベートなどを取り入れ、自分の意見を自身を持って発表する実践力を養う。ライティング活動では基本的な構文、文法事項を学び、ある程度のパラグラフが書けるよう英作文のスキル向上を目指す。前期後期、各1回のオーラルチェックで十分な自己表現ができるよう日々の講義で動機付け、技能の習熟を目的とする。					
Style						
Notice	1. 予習復習を怠りなく授業に臨む。 2. 授業に必ず辞書を持参する。					
Course Plan						
			Theme	Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	Unit1 Lesson1～4	基礎的な文構造、文法事項を学び、トピックに応じて実際にそれらを使うことができる。		
		2nd	Unit1 Lesson1～4	基礎的な文構造、文法事項を学び、トピックに応じて実際にそれらを使うことができる。		
		3rd	Unit1 Lesson1～4	基礎的な文構造、文法事項を学び、トピックに応じて実際にそれらを使うことができる。		
		4th	Unit1 Lesson1～4	基礎的な文構造、文法事項を学び、トピックに応じて実際にそれらを使うことができる。		
		5th	Unit2 Lesson5～8	基礎的な文構造、文法事項を学び、トピックに応じて実際にそれらを使うことができる。		
		6th	Unit2 Lesson5～8	基礎的な文構造、文法事項を学び、トピックに応じて実際にそれらを使うことができる。		
		7th	Unit2 Lesson5～8	基礎的な文構造、文法事項を学び、トピックに応じて実際にそれらを使うことができる。		
		8th	前期中間試験			
	2nd Quarter	9th	Unit7 Lesson25～28	相手に確実に伝えるためにスピーチの種類の構成要素を学び、実際にプレゼンテーションすることができる。		
		10th	Unit7 Lesson25～28	相手に確実に伝えるためにスピーチの種類の構成要素を学び、実際にプレゼンテーションすることができる。		
		11th	Unit7 Lesson25～28	相手に確実に伝えるためにスピーチの種類の構成要素を学び、実際にプレゼンテーションすることができる。		
		12th	Unit3 Lesson9～12	相手に確実に伝えるためにスピーチの種類の構成要素を学び、実際にプレゼンテーションすることができる。		
		13th	Unit3 Lesson9～12	相手に確実に伝えるためにスピーチの種類の構成要素を学び、実際にプレゼンテーションすることができる。		
		14th	Unit3 Lesson9～12	相手に確実に伝えるためにスピーチの種類の構成要素を学び、実際にプレゼンテーションすることができる。		
		15th	自由作文、オーラルチェック	100Words程度の作文をほとんどミスなく作成し、それを口頭発表できる。		
		16th	前期期末試験			
2nd Semester	3rd Quarter	1st	Unit4 Lesson13～16	パラグラフの構成と書き方について学び、それを実践することができる。		
		2nd	Unit4 Lesson13～16	パラグラフの構成と書き方について学び、それを実践することができる。		

		3rd	Unit4 Lesson13～16	パラグラフの構成と書き方について学び、それを実践することができる。
		4th	Unit4 Lesson13～16	パラグラフの構成と書き方について学び、それを実践することができる。
		5th	Unit5 Lesson17～20	パラグラフの構成と書き方について学び、それを実践することができる。
		6th	Unit5 Lesson17～20	パラグラフの構成と書き方について学び、それを実践することができる。
		7th	Unit5 Lesson17～20	パラグラフの構成と書き方について学び、それを実践することができる。
		8th	後期中間試験	
	4th Quarter	9th	Unit8 Lesson29～32	意見を交換するためにディベートの概要を理解し、論題について意見を述べることができる。
		10th	Unit8 Lesson29～32	意見を交換するためにディベートの概要を理解し、論題について意見を述べることができる。
		11th	Unit8 Lesson29～32	意見を交換するためにディベートの概要を理解し、論題について意見を述べることができる。
		12th	Unit6 Lesson21～24	意見を交換するためにディベートの概要を理解し、論題について意見を述べることができる。
		13th	Unit6 Lesson21～24	意見を交換するためにディベートの概要を理解し、論題について意見を述べることができる。
		14th	Unit6 Lesson21～24	意見を交換するためにディベートの概要を理解し、論題について意見を述べることができる。
		15th	自由作文、オーラルチェック	100Words程度の作文をほとんどミスなく作成し、それを口頭発表できる。
		16th	後期期末試験	

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	小テスト	Total
Subtotal	60	15	0	0	10	0	15	100
基礎的能力	60	15	0	0	10	0	15	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2015		Course Title	英語総合 1
Course Information						
Course Code	0031			Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture			Credits	Academic Credit: 2	
Department	一般教科（平成25年度以前入学生）			Student Grade	4th	
Term	Second Semester			Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	Message from the Globe,M.Yamashita,M.Yokoyama,Y.Okino,CENGAGE Learning/					
Instructor	Taninaka Toshihiro					
Course Objectives						
1. 教材の科学的な話題のドキュメンタリー番組を視聴して、その内容についての質問に答えられる。 2. 1の教材のスク립トに目を読解し、その内容についての質問に答えられる。 3. 教材に用いられている科学技術の基本用語を含む重要語彙や重要文法事項を和文英訳に応用できる。 4. 3の重要語彙や重要文法事項を自分の意見を表明する簡単な英作文に応用できる。						
Rubric						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
到達目標1	教材の番組を視聴して、内容についての質問に英文でも答えられる。		教材の番組を視聴して、内容についての質問に、選択肢や日本語、単語レベルの英語で答えられる。		教材の番組を視聴して、内容についての質問に、選択肢や日本語、単語レベルの英語でも答えられない。	
到達目標2	教材の番組のスク립トを読んで、内容についての質問に英文で答えられる。		教材の番組のスク립トを読んで、質問に対して選択しや日本語、単語レベルの英語で答えられる。		教材の番組のスク립トを読んで、質問に対して選択しや日本語、単語レベルの英語でも答えられない。	
到達目標3	学習した重要語句や重要文法事項を教材の英文から離れた和文英訳に応用できる。		学習した重要語句や重要文法事項を教材の英文によく似た和文英訳に応用できる。		学習した重要語句や重要文法事項を教材の英文によく似た和文英訳にも応用できない。	
到達目標4	学習した重要語句や重要文法事項を使い、十分情報を補足しながら自分の意見を表明する英作文ができる。		学習した重要語句や重要文法事項を使い、1～2文で自分の意見を表明する英作文ができる。		学習した重要語句や重要文法事項を使って英文の形で自分の意見を表明することが全くできない。	
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	科学的な話題を取り扱った英語視聴覚教材の音声・映像とそのスク립トを通して科学技術の基本用語を含む英文の聴解力・読解力を高める。また登場した語彙や文法の重要事項を習得し、その知識を和文英訳や自分の意見を表明する簡単な英作文に応用できるようにする。					
Style						
Notice	1. 授業には英和辞書（電子辞書可）を持参すること。 2. オリエンテーション時に説明する方法で、自学自習として予習復習を十分行うこと。 3. 教材のDVDを自分でも視聴できる環境を整えておくこと。					
Course Plan						
			Theme	Goals		
2nd Semester r	3rd Quarter	1st	オリエンテーション	学習方法についての理解		
		2nd	Unit1～8	到達目標の1～4について、全Unitを題材に学習します。		
		3rd	Unit1～8	到達目標の1～4について、全Unitを題材に学習します。		
		4th	Unit1～8	到達目標の1～4について、全Unitを題材に学習します。		
		5th	Unit1～8	到達目標の1～4について、全Unitを題材に学習します。		
		6th	Unit1～8	到達目標の1～4について、全Unitを題材に学習します。		
		7th	Unit1～8	到達目標の1～4について、全Unitを題材に学習します。		
		8th	Unit1～8	到達目標の1～4について、全Unitを題材に学習します。		
	4th Quarter	9th	【後期中間試験】			
		10th	Unit9～14	到達目標の1～4について、全Unitを題材に学習します。		
		11th	Unit9～14	到達目標の1～4について、全Unitを題材に学習します。		
		12th	Unit9～14	到達目標の1～4について、全Unitを題材に学習します。		
		13th	Unit9～14	到達目標の1～4について、全Unitを題材に学習します。		
		14th	Unit9～14	到達目標の1～4について、全Unitを題材に学習します。		
		15th	Unit9～14	到達目標の1～4について、全Unitを題材に学習します。		
		16th	【学年末試験】			
Evaluation Method and Weight (%)						

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	小テスト	Total
Subtotal	70	0	0	0	20	0	10	100
基礎的能力	70	0	0	0	20	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2015		Course Title	法学
Course Information						
Course Code	0032			Course Category	General / Elective	
Class Format	Lecture			Credits	School Credit: 2	
Department	一般教科（平成25年度以前入学生）			Student Grade	4th	
Term	Year-round			Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	アクセス法学（嵯峨野書院）/法の世界へ[第6版](有斐閣)					
Instructor	Imada Hiroyuki					
Course Objectives						
1. 法規範の特質、法分類、裁判手続の基本について説明できる。 2. 憲法の基本的人権論、司法審査理論について説明できる。 3. 民法、刑法などの原理・制度・運用について説明できる。						
Rubric						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
到達目標1	法規範の特質分析や法分類の意義、裁判手続における立証責任の意義について説明できる。		法規範の特質、法分類、裁判手続の基本について説明できる。		法規範の特質、法分類、裁判手続の基本について説明できない。	
到達目標2	憲法の基本的人権に関する判例の意義と課題を説明できる。		憲法の基本的人権論、司法審査理論について説明できる。		憲法の基本的人権論、司法審査理論について説明できない。	
到達目標3	民法、刑法などの原理・制度・運用について説明できる。		民法、刑法などの原理・制度について説明できる。		民法、刑法などの原理・制度について説明できない。	
Assigned Department Objectives						
1 1						
Teaching Method						
Outline	この科目では、具体的な法文や訴訟判例を素材に、現行法の制度・運用について検討し、各自が法的思考能力を身に付けることを目標とする。					
Style	授業では、先ず、「法学基礎論」で法学の基礎的知識や方法論を学び、次に「法学各論」で各法分野につき、制度や運用に関する具体的な法文や訴訟判例の検討を通じて、法的思考方法を習得する。					
Notice	日常的に、様々な現実社会の問題について、法的観点から考えてみるようにして下さい。 新しい立法や裁判の動向、権利や自由に関する時事的な話題にも積極的に目を向けましょう。					
Course Plan						
1st Semester	1st Quarter	1st	法とは何か	Goals	社会規範としての法の特徴、法の諸分類について説明できる。	
		2nd	法とは何か	社会規範としての法の特徴、法の諸分類について説明できる。		
		3rd	法の解釈	法の解釈技術について説明できる。		
		4th	法の解釈	法の解釈技術について説明できる。		
		5th	裁判の構造	裁判手続の基本的構造、立証責任について説明できる。		
		6th	裁判の構造	裁判手続の基本的構造、立証責任について説明できる。		
		7th	裁判の構造	裁判手続の基本的構造、立証責任について説明できる。		
		8th	憲法の基本的人権保障	基本的人権、司法審査制、二重の基準論について説明できる。		
	2nd Quarter	9th	憲法の基本的人権保障	基本的人権、司法審査制、二重の基準論について説明できる。		
		10th	憲法の基本的人権保障	基本的人権、司法審査制、二重の基準論について説明できる。		
		11th	憲法の基本的人権保障	基本的人権、司法審査制、二重の基準論について説明できる。		
		12th	民法	債権、契約、不法行為、物権などについて説明できる。		
		13th	民法	債権、契約、不法行為、物権などについて説明できる。		
		14th	民法	債権、契約、不法行為、物権などについて説明できる。		
		15th	民法	債権、契約、不法行為、物権などについて説明できる。		
		16th	前学期末試験			
2nd Semester	3rd Quarter	1st	民法	債権、契約、不法行為、物権などについて説明できる。		
		2nd	消費者保護法	特定商取引法、消費者契約法などについて説明できる。		
		3rd	消費者保護法	特定商取引法、消費者契約法などについて説明できる。		
		4th	消費者保護法	特定商取引法、消費者契約法などについて説明できる。		

		5th	製造物責任法	製造物、製造業者、欠陥責任などについて説明できる。
		6th	製造物責任法	製造物、製造業者、欠陥責任などについて説明できる。
		7th	製造物責任法	製造物、製造業者、欠陥責任などについて説明できる。
		8th	刑法	罪刑法定主義、犯罪成立要件、刑罰などについて説明できる。
	4th Quarter	9th	刑法	罪刑法定主義、犯罪成立要件、刑罰などについて説明できる。
		10th	刑法	罪刑法定主義、犯罪成立要件、刑罰などについて説明できる。
		11th	刑事訴訟法	適正手続原則、刑事手続の全体構造などについて説明できる。
		12th	刑事訴訟法	適正手続原則、刑事手続の全体構造などについて説明できる。
		13th	労働法	労働基準法、男女雇用機会均等法などについて説明できる。
		14th	労働法	労働基準法、男女雇用機会均等法などについて説明できる。
		15th	後学期末試験	
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	小テスト	Total
Subtotal	70	0	0	0	30	0	0	100
基礎的能力	60	0	0	0	20	0	0	80
専門的能力	10	0	0	0	10	0	0	20
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2015		Course Title	哲学
Course Information						
Course Code	0033			Course Category	General / Elective	
Class Format	Lecture			Credits	School Credit: 2	
Department	一般教科（平成25年度以前入学生）			Student Grade	4th	
Term	Year-round			Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	使用しません。適宜、プリント資料を配付します/高等学校倫理（第一学習社）					
Instructor	Fujii Taketo					
Course Objectives						
1. 哲学上の諸問題に関する基礎的な知識について説明できる。 2. 議論用資料作成を通して、自分の主張を明確に文章にまとめることができる。 3. 議論を通して、周囲の意見を認めることができる。						
Rubric						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
到達目標1	哲学上の諸問題に関する基礎的な知識について、講義内容の詳細を踏まえて、説明できる。		哲学上の諸問題に関する基礎的な知識について、講義内容の概略を踏まえて、説明できる。		哲学上の諸問題に関する基礎的な知識について説明できない。	
到達目標2	論理に矛盾がなく、十分な分量で自分の主張を議論用資料として文章にまとめることができる。		十分な分量で自分の主張を議論用資料として文章にまとめることができる。		論理に矛盾があり、自分の主張が明確には文章にまとめられていない。	
到達目標3	議論に主体的にかかわり、周囲の意見を十分に尊重できる。		議論にかかわり、周囲の意見を尊重できる。		議論へのかかわりが不十分で、周囲の意見の尊重も不十分である。	
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	自分自身がつまづきまざまな疑問に対して、徹底的に考え抜くことが哲学における基本的態度です。「哲学する」とはどのようなことかについて、西洋と日本の思想を取り上げつつ、講義してゆきます。そして、哲学上の諸問題に関する講義と議論用資料作成を・議論を通して、①それぞれの学生が「哲学する」ことができるように動機づけして、国際人として通用する柔軟な思考を養成します。②それぞれの学生が多様な価値観を認めつつ、自己の確立ができるようにします。					
Style						
Notice	議論のための資料として、適宜、小レポートを提出してもらう予定です。レポートはU S Bメモリー・メール等で受けつけるので、その心づもりをしておいてください。議論は年4回を予定しています。また、講義で述べたことについて定期試験で確認する方針なので、「講義をしっかりと聴く」ことを心がけてほしいと思います。					
Course Plan						
			Theme	Goals		
1st Semester r	1st Quarter	1st	「哲学」とは？	「哲学」と「思想」との相違について、説明できる。		
		2nd	「哲学」とは？	「哲学」と「思想」との相違について、説明できる。		
		3rd	「哲学」「philosophia」の語	「哲学」の語の由来・「philosophia」の語の由来について、説明できる。		
		4th	「哲学」「philosophia」の語	「philosophia」の語の由来について、説明できる。		
		5th	「哲学」「philosophia」の語	「philosophia」の語の由来について、説明できる。		
		6th	「哲学」「philosophia」の語	「philosophia」の語の由来について、説明できる。		
		7th	議論	資料作成を通して自分の意見をまとめ、議論を通して周囲の意見を認められる。		
		8th	西洋における哲学上の諸問題 1	デカルトを中心にした主観客観の一致問題について、説明できる。		
	2nd Quarter	9th	西洋における哲学上の諸問題 1	デカルトを中心にした主観客観の一致問題について、説明できる。		
		10th	西洋における哲学上の諸問題 2	ロック・ヒュームを中心にした主観客観の一致問題について、説明できる。		
		11th	西洋における哲学上の諸問題 2	ロック・ヒュームを中心にした主観客観の一致問題について、説明できる。		
		12th	西洋における哲学上の諸問題 3	カント・ヘーゲルを中心にした主観客観の一致問題について、説明できる。		
		13th	西洋における哲学上の諸問題 3	カント・ヘーゲルを中心にした主観客観の一致問題について、説明できる。		
		14th	西洋における哲学上の諸問題 3	カント・ヘーゲルを中心にした主観客観の一致問題について、説明できる。		
		15th	議論	資料作成を通して自分の意見をまとめ、議論を通して周囲の意見を認められる。		
		16th	前期期末試験 答案返却時間			
2nd Semester r	3rd Quarter	1st	日本における哲学上の諸問題 1	『古事記』を中心にした古代人の思想について、説明できる。		
		2nd	日本における哲学上の諸問題 1	『古事記』を中心にした古代人の思想について、説明できる。		
		3rd	日本における哲学上の諸問題 1	『古事記』を中心にした古代人の思想について、説明できる。		
		4th	日本における哲学上の諸問題 2	言霊の思想を中心にした古代人の思想について、説明できる。		

		5th	日本における哲学上の諸問題 2	言霊の思想を中心にした古代人の思想について、説明できる。
		6th	議論	資料作成を通して自分の意見をまとめ、議論を通して周囲の意見を認められる。
		7th	日本における哲学上の諸問題 3	禅の思想・道元を中心に中世人の思想について、説明できる。
		8th	日本における哲学上の諸問題 3	禅の思想・道元を中心に中世人の思想について、説明できる。
	4th Quarter	9th	日本における哲学上の諸問題 3	禅の思想・道元を中心に中世人の思想について、説明できる。
		10th	日本における哲学上の諸問題 4	世阿弥を中心に中世人の思想について、説明できる。
		11th	日本における哲学上の諸問題 4	世阿弥を中心に中世人の思想について、説明できる。
		12th	日本における哲学上の諸問題 5	千利休を中心に近世人の思想について、説明できる。
		13th	日本における哲学上の諸問題 5	千利休を中心に近世人の思想について、説明できる。
		14th	議論	資料作成を通して自分の意見をまとめ、議論を通して周囲の意見を認められる。
		15th	後期期末試験 答案返却時間	
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	Total
Subtotal	60	0	0	0	32	8	100
基礎的能力	60	0	0	0	32	8	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2015		Course Title	体育	
Course Information							
Course Code	0034			Course Category	General / Elective		
Class Format	Lecture			Credits	School Credit: 1		
Department	一般教科（平成25年度以前入学生）			Student Grade	4th		
Term	Second Semester			Classes per Week	2		
Textbook and/or Teaching Materials							
Instructor	Arai Osamu						
Course Objectives							
1.互いに協力し合い、主体的に練習やゲームの方法を工夫して運動を実践できる。 2.自己の能力に応じて、運動の技能や体力を身につけることができる。 3.運動・活動中は安全に留意して行動できる。							
Rubric							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
到達目標1	自己及び、仲間の取るべき行動を適切に判断し、主体的に練習やゲームを工夫し、活動を円滑に実践できる。		自己の取るべき行動を判断し、他人と互いに協力しながら練習やゲームを工夫し、活動に参加できる。		自己の取るべき行動が判断できない。または他人と協力する姿勢が見られず、活動に参加できない。		
到達目標2	自己の能力を理解し、適切なプログラムを作成して運動の技能や体力を身につけることができる。		教員が指示したプログラムに従い、運動の技能や体力を身につけることができる。		教員の指示に従わず、運動の技能や体力を身につけることができない。		
到達目標3	活動中、自己のみならず仲間も安全に留意し、必要に応じて危険を回避する行動を取る事ができる。		活動中、自分の安全に留意し、必要に応じて危険を回避する行動を取る事ができる。		活動中、安全に留意して活動できない。		
Assigned Department Objectives							
Teaching Method							
Outline	運動を行うことにより、運動することの楽しさや喜びの実感、運動に必要な技能の習得及び体力の向上を図る。あわせて自ら意欲的に運動に取り組む姿勢や、生涯にわたって運動に親しむ態度を育てる。特に本授業では、生涯スポーツの観点から、自己の能力や興味関心に応じて種目を選択させ、運動を安全かつ楽しみながら実践できるよう、工夫・協力しながら学習することに重点を置く。						
Style							
Notice	普段から健康管理を心がけ、風邪などにより授業を見学・欠席することの無いよう気をつけてください。 学校指定の体操服で活動してください。 天候等、やむを得ない事情により、実施種目は変更されることがあります。 前期の体育大会は授業時数に含まれますので、欠席しないようにして下さい。						
Course Plan							
			Theme		Goals		
2nd Semester	3rd Quarter	1st	種目選択と実践		(1)各種目のルールを理解し説明できる。		
		2nd	種目選択と実践		(2)各種目の基本的な個人技能を習得する。		
		3rd	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		4th	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		5th	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		6th	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		7th	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		8th	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
	4th Quarter	9th	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		10th	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		11th	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		12th	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		13th	体育大会(後期)		(1)参加する種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。		
		14th	体育大会(後期)		(1)参加する種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。		
		15th	体育大会(後期)		(1)参加する種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。		
		16th					
Evaluation Method and Weight (%)							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	Total
Subtotal	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	100	100

Anan College		Year	2015		Course Title	化学 3
Course Information						
Course Code	0035			Course Category	General / Elective	
Class Format	Lecture			Credits	Academic Credit: 2	
Department	一般教科（平成25年度以前入学生）			Student Grade	4th	
Term	Second Semester			Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	大学への橋渡し 有機化学(化学同人)/					
Instructor						
Course Objectives						
1.分子軌道から共有結合を説明できる。 2.熱化学方程式から、ヘスの法則を用いて反応熱を計算することができる。 3.基本的な有機化合物の性質を、官能基の特性から説明できる。						
Rubric						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
到達目標1	分子軌道から共有結合を理解し、配位結合など基礎的な用語を説明できる。		分子軌道から共有結合を理解し、説明できる。		分子軌道と共有結合の関連性を説明できない。	
到達目標2	熱化学方程式から反応式を計算でき、活性化エネルギーや結合エネルギーを説明できる。		熱化学方程式から反応熱を計算することができる。		反応熱を計算することができない。	
到達目標3	基本的な有機化合物の性質と反応性の違いを、官能基の特性から説明できる。		基本的な有機化合物の性質を、官能基の特性から説明できる。		有機化合物の性質と官能基の特性の関連性を説明できない。	
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	化学とは物質の変化の裏にある基本的な原理・法則を、実験や理論を通して追求していく学問である。それらの成果は様々な工業製品を通じて現在の物質文明を支えている。本講義は化学に関する基礎的な学習をふまえ、技術者として必要な化学的概念を理解することを目的としている。					
Style						
Notice	1,2年生で学習した化学の内容を必ず復習し、本講義を受講してください。自学自習の課題は全部で15回出しますが、必ず自分で解決してください。課題には1,2年生の化学の範囲も含めます。					
Course Plan						
			Theme	Goals		
2nd Semester	3rd Quarter	1st	原子の構造	(1) 原子を構成する粒子を理解sk質量数を決定できる。 (2) 電気軌道を用いて電子配置を記述できる。		
		2nd	原子の構造	(1) 原子を構成する粒子を理解sk質量数を決定できる。 (2) 電気軌道を用いて電子配置を記述できる。		
		3rd	化学結合	(1) 分子軌道の考えに基づき、溶融結合を説明できる。		
		4th	化学結合	(1) 分子軌道の考えに基づき、溶融結合を説明できる。		
		5th	化学結合	(1) 分子軌道の考えに基づき、溶融結合を説明できる。		
		6th	化学反応	(1) 係数を考慮して化学反応式を立式できる。 (2) 熱化学方程式から反応熱を計算することができる。 (3) 化学平衡、平衡状態を説明できる。		
		7th	化学反応	(1) 係数を考慮して化学反応式を立式できる。 (2) 熱化学方程式から反応熱を計算することができる。 (3) 化学平衡、平衡状態を説明できる。		
		8th	化学反応	(1) 係数を考慮して化学反応式を立式できる。 (2) 熱化学方程式から反応熱を計算することができる。 (3) 化学平衡、平衡状態を説明できる。		
	4th Quarter	9th	中間試験			
		10th	官能基と化合物	(1) 基本的な有機化合物（炭化水素、脂肪族化合物、芳香族化合物など）の性質を官能基の特性から類推、説明できる。		
		11th	官能基と化合物	(1) 基本的な有機化合物（炭化水素、脂肪族化合物、芳香族化合物など）の性質を官能基の特性から類推、説明できる。		
		12th	官能基と化合物	(1) 基本的な有機化合物（炭化水素、脂肪族化合物、芳香族化合物など）の性質を官能基の特性から類推、説明できる。		
		13th	官能基と化合物	(1) 基本的な有機化合物（炭化水素、脂肪族化合物、芳香族化合物など）の性質を官能基の特性から類推、説明できる。		
		14th	官能基と化合物	(1) 基本的な有機化合物（炭化水素、脂肪族化合物、芳香族化合物など）の性質を官能基の特性から類推、説明できる。		

		15th	官能基と化合物	(1) 基本的な有機化合物（炭化水素、脂肪族化合物、芳香族化合物など）の性質を官能基の特性から類推、説明できる。			
		16th	期末試験及び返却				
Evaluation Method and Weight (%)							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	Total
Subtotal	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	40	0	0	0	10	0	50
専門的能力	30	0	0	0	10	0	40
分野横断的能力	0	0	0	0	10	0	10

Anan College		Year	2015		Course Title	英語の語彙・文法（１）	
Course Information							
Course Code		0036		Course Category		General / Elective	
Class Format		Lecture		Credits		School Credit: 1	
Department		一般教科（平成25年度以前入学生）		Student Grade		4th	
Term		First Semester		Classes per Week		2	
Textbook and/or Teaching Materials		Start-up Course for the TOEIC Test (成美同)、英単語・熟語ダイアログ1200（三省堂）/TOEICテスト新公式問題集 vol.1～5					
Instructor							
Course Objectives							
1.TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応することができる。 2.授業で扱った、TOEICに頻出する語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3.授業で扱った、TOEICに頻出する文法事項や構文を理解し、運用できるようになる。							
Rubric							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
到達目標1		TOEICの出題傾向、出題形式を把握し、解答時間も考慮しながら適切な対応ができる。		TOEICの出題傾向を把握し、各パートの問題形式に対応できる。		TOEICの出題傾向を把握しておらず、各パートの問題形式に対応できない。	
到達目標2		授業で扱った、TOEICに頻出する語彙・表現の90%以上を暗記し、正しく運用できる。		授業で扱った、TOEICに頻出する語彙・表現の60%程度を暗記し、ほぼ正しく運用できる。		授業で扱った、TOEICに頻出する語彙・表現の暗記が60%未満で運用力が低い。	
到達目標3		授業で扱った、TOEICに頻出する文法事項や構文を90%以上理解し、正しく運用できる。		授業で扱った、TOEICに頻出する文法事項や構文を60%程度理解し、ほぼ正しく運用できる。		授業で扱った、TOEICに頻出する文法事項や構文の理解が60%未満で運用力が低い。	
到達目標4		TOEICスコア375点以上を獲得できる。		TOEICスコア300～375点を獲得できる。		TOEICスコア300点を獲得できない。	
Assigned Department Objectives							
Teaching Method							
Outline		TOEIC実践形式の問題演習を通して語彙力、文法力、聴解力、読解力を総合的に向上させ、300～375点のTOEICスコアを達成する。また、ダイアログ式の単語・熟語集を用いて、単語や熟語を暗記し、適切に運用できるようになる。					
Style							
Notice		1.授業には辞書（電子辞書可）を持参すること。 2.オリエンテーションで説明するやり阿多で十分予習・復習を行うこと。 3.【重要】TOEICスコアを成績に含めるので前期に実施されるTOEICを必ず受験すること。（獲得スコアが300定位未満の場合、総合評価の「その他」の10点分が与えられない。）					
Course Plan							
			Theme		Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	オリエンテーション		授業の目的、当宅目標、学習方法を理解する。		
		2nd	Unit 1		各ユニットの問題演習を通して、 1.TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題景色に対応できるようになる。 2.交通、情報案内、指示、説明、飲食、ビジネス、通信・コミュニケーション、社交の各場面におけるTOEIC頻出語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3.疑問代名詞、疑問副詞、否定疑問、進行形、完了形、受動態、不定詞、分子、動名詞など、TOEIC頻出の文法項目・構文を理解し、運用できるようになる。		
		3rd	Unit 2		各ユニットの問題演習を通して、 1.TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題景色に対応できるようになる。 2.交通、情報案内、指示、説明、飲食、ビジネス、通信・コミュニケーション、社交の各場面におけるTOEIC頻出語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3.疑問代名詞、疑問副詞、否定疑問、進行形、完了形、受動態、不定詞、分子、動名詞など、TOEIC頻出の文法項目・構文を理解し、運用できるようになる。		
		4th	Unit 3		各ユニットの問題演習を通して、 1.TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題景色に対応できるようになる。 2.交通、情報案内、指示、説明、飲食、ビジネス、通信・コミュニケーション、社交の各場面におけるTOEIC頻出語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3.疑問代名詞、疑問副詞、否定疑問、進行形、完了形、受動態、不定詞、分子、動名詞など、TOEIC頻出の文法項目・構文を理解し、運用できるようになる。		
		5th	Unit 4		各ユニットの問題演習を通して、 1.TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題景色に対応できるようになる。 2.交通、情報案内、指示、説明、飲食、ビジネス、通信・コミュニケーション、社交の各場面におけるTOEIC頻出語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3.疑問代名詞、疑問副詞、否定疑問、進行形、完了形、受動態、不定詞、分子、動名詞など、TOEIC頻出の文法項目・構文を理解し、運用できるようになる。		

		6th	Unit 5	各ユニットの問題演習を通して、 1.TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題景色に対応できるようになる。 2.交通、情報案内、指示、説明、飲食、ビジネス、通信・コミュニケーション、社交の各場面におけるTOEIC頻出語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3.疑問代名詞、疑問副詞、否定疑問、進行形、完了形、受動態、不定詞、分子、動名詞など、TOEIC頻出の文法項目・構文を理解し、運用できるようになる。
		7th	Unit 6	各ユニットの問題演習を通して、 1.TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題景色に対応できるようになる。 2.交通、情報案内、指示、説明、飲食、ビジネス、通信・コミュニケーション、社交の各場面におけるTOEIC頻出語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3.疑問代名詞、疑問副詞、否定疑問、進行形、完了形、受動態、不定詞、分子、動名詞など、TOEIC頻出の文法項目・構文を理解し、運用できるようになる。
		8th	まとめと復習	各ユニットの問題演習を通して、 1.TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題景色に対応できるようになる。 2.交通、情報案内、指示、説明、飲食、ビジネス、通信・コミュニケーション、社交の各場面におけるTOEIC頻出語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3.疑問代名詞、疑問副詞、否定疑問、進行形、完了形、受動態、不定詞、分子、動名詞など、TOEIC頻出の文法項目・構文を理解し、運用できるようになる。
	2nd Quarter	9th	前期中間試験	
		10th	Unit 7	各ユニットの問題演習を通して、 1.TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題景色に対応できるようになる。 2.招待・案内、医療・保健、文化・娯楽、買い物、運動、トラブル・申請の各場面におけるTOEIC頻出語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3.副詞、助動詞、接続し、仮定法、分子構文、前置語句など、TOEIC頻出の文法項目・構文を理解し、運用できるようになる。
		11th	Unit 8	各ユニットの問題演習を通して、 1.TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題景色に対応できるようになる。 2.招待・案内、医療・保健、文化・娯楽、買い物、運動、トラブル・申請の各場面におけるTOEIC頻出語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3.副詞、助動詞、接続し、仮定法、分子構文、前置語句など、TOEIC頻出の文法項目・構文を理解し、運用できるようになる。
		12th	Unit 9	各ユニットの問題演習を通して、 1.TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題景色に対応できるようになる。 2.招待・案内、医療・保健、文化・娯楽、買い物、運動、トラブル・申請の各場面におけるTOEIC頻出語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3.副詞、助動詞、接続し、仮定法、分子構文、前置語句など、TOEIC頻出の文法項目・構文を理解し、運用できるようになる。
		13th	Unit 10	各ユニットの問題演習を通して、 1.TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題景色に対応できるようになる。 2.招待・案内、医療・保健、文化・娯楽、買い物、運動、トラブル・申請の各場面におけるTOEIC頻出語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3.副詞、助動詞、接続し、仮定法、分子構文、前置語句など、TOEIC頻出の文法項目・構文を理解し、運用できるようになる。
		14th	Unit 11	各ユニットの問題演習を通して、 1.TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題景色に対応できるようになる。 2.招待・案内、医療・保健、文化・娯楽、買い物、運動、トラブル・申請の各場面におけるTOEIC頻出語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3.副詞、助動詞、接続し、仮定法、分子構文、前置語句など、TOEIC頻出の文法項目・構文を理解し、運用できるようになる。
		15th	Unit 12	各ユニットの問題演習を通して、 1.TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題景色に対応できるようになる。 2.招待・案内、医療・保健、文化・娯楽、買い物、運動、トラブル・申請の各場面におけるTOEIC頻出語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3.副詞、助動詞、接続し、仮定法、分子構文、前置語句など、TOEIC頻出の文法項目・構文を理解し、運用できるようになる。

		16th	まとめと復習	各ユニットの問題演習を通して、 1.TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題景色に対応できるようになる。 2.招待・案内、医療・保健、文化・娯楽、買い物、運動、トラブル・申請の各場面におけるTOEIC頻出語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3.副詞、助動詞、接続し、仮定法、分子構文、前置語句など、TOEIC頻出の文法項目・構文を理解し、運用できるようになる。				
Evaluation Method and Weight (%)								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	小テスト	Total
Subtotal	60	0	0	0	20	10	10	100
基礎的能力	60	0	0	0	20	10	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2015		Course Title	英語の語彙・文法（２）
Course Information						
Course Code	0037			Course Category	General / Elective	
Class Format	Lecture			Credits	School Credit: 1	
Department	一般教科（平成25年度以前入学生）			Student Grade	4th	
Term	Second Semester			Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	Best practice for the TOEIC Test 成美堂/対話文で覚える英単語・熟語ダイアログ 1200 旺文社					
Instructor	Katsufuji Kazuko					
Course Objectives						
1. 教科書・語彙集などの教材で学習した語彙を理解し、運用できるようになる。 2. 教科書で取り上げた文法事項や構文を理解し、運用できるようになる。 3. TOEIC 3 2 5 点～4 0 0 点に相当する読解力や聴解力を身につける。						
Rubric						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
到達目標1	教科書・参考書などの教材で学習した語彙・表現を文脈の中で適切に理解し、自ら運用できる。		教科書・参考書などの教材で学習した語彙・表現を文脈の中で適切に理解できる。		教科書・参考書などの教材で学習した語彙・表現を文脈の中で適切に理解できない。	
到達目標2	教科書で取り上げた文法事項や構文を文脈の中で適切に理解し、自ら運用できる。		教科書で取り上げた文法事項や構文を文脈の中で適切に理解できる。		教科書で取り上げた文法事項や構文を文脈の中で適切に理解できない。	
到達目標3	授業で扱った英文を読解および聴解において十分に理解し、TOEICスコア400点以上を取得できる。		授業で扱った英文を読解および聴解において十分に理解し、TOEICスコア325点以上を取得できる。		TOEICスコア325点を取得できない。	
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	実戦形式のTOEIC問題演習を通して、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的向上を図り、TOEICスコア400点以上の取得を目指す。					
Style						
Notice	1.授業には辞書(電子辞書可)を持参すること。 2.【重要】後学期中にTOEIC IP テストを必ず受験すること。(325点未満は評価割合の「その他」の得点が与えられない。) 3.単語テストを実施するので、英単語・熟語ダイアログ1200(旺文社)を準備しておくこと。					
Course Plan						
			Theme	Goals		
2nd Semester r	3rd Quarter	1st	オリエンテーション	シラバスの内容を理解する。		
		2nd	Unit1 Restaurantr ～ Unit6 Letter&E-mail	■TOEIC問題演習を通して、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的向上を図る。		
		3rd	Unit1 Restaurantr ～ Unit6 Letter&E-mail	■各UnitはRestaurantやEntertainmentなどのトピック別の構成になっており、それぞれのトピックに頻出の英語表現などに慣れる。		
		4th	Unit1 Restaurantr ～ Unit6 Letter&E-mail	■各Unitごとに取り上げられた人称代名詞や現在・過去の時制などTOEIC頻出の重要文法事項を理解しながら問題を解く。		
		5th	Unit1 Restaurantr ～ Unit6 Letter&E-mail	■各Unitごとに取り上げられた人称代名詞や現在・過去の時制などTOEIC頻出の重要文法事項を理解しながら問題を解く。		
		6th	Unit1 Restaurantr ～ Unit6 Letter&E-mail	■各Unitごとに取り上げられた人称代名詞や現在・過去の時制などTOEIC頻出の重要文法事項を理解しながら問題を解く。		
		7th	Unit1 Restaurantr ～ Unit6 Letter&E-mail	■各Unitごとに取り上げられた人称代名詞や現在・過去の時制などTOEIC頻出の重要文法事項を理解しながら問題を解く。		
		8th	後期中間テスト			
	4th Quarter	9th	Unit7 Health ～ Unit14 Education	■TOEIC問題演習を通して、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的向上を図る。		
		10th	Unit7 Health ～ Unit14 Education	■各UnitはRestaurantやEntertainmentなどのトピック別の構成になっており、それぞれのトピックに頻出の英語表現などに慣れる。		
		11th	Unit7 Health ～ Unit14 Education	■各Unitごとに取り上げられた自動詞と他動詞や副詞を作る接尾辞などTOEIC頻出の重要文法事項を理解しながら問題を解く。		
		12th	Unit7 Health ～ Unit14 Education	■各Unitごとに取り上げられた自動詞と他動詞や副詞を作る接尾辞などTOEIC頻出の重要文法事項を理解しながら問題を解く。		
		13th	Unit7 Health ～ Unit14 Education	■各Unitごとに取り上げられた自動詞と他動詞や副詞を作る接尾辞などTOEIC頻出の重要文法事項を理解しながら問題を解く。		
		14th	Unit7 Health ～ Unit14 Education	■各Unitごとに取り上げられた自動詞と他動詞や副詞を作る接尾辞などTOEIC頻出の重要文法事項を理解しながら問題を解く。		

		15th	Unit7 Health ～ Unit14 Education	■各Unitごとに取り上げられた自動詞と他動詞や副詞を作る接尾辞などTOEIC頻出の重要文法事項を理解しながら問題を解く。
		16th	学年末試験 答案返却	

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	小テスト	Total
Subtotal	60	0	0	0	10	15	15	100
基礎的能力	60	0	0	0	10	15	15	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2015		Course Title	経済学
Course Information						
Course Code	0038			Course Category	General / Elective	
Class Format	Lecture			Credits	Academic Credit: 2	
Department	一般教科（平成25年度以前入学生）			Student Grade	5th	
Term	Second Semester			Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	教養の政治学・経済学(学術図書出版社)/入門経済学[第4版](日本評論社)					
Instructor	Imada Hiroyuki					
Course Objectives						
1. 経済体制や価格機構について説明できる。 2. 国民経済計算や景気循環について説明できる。 3. 金融政策や財政政策について説明できる。						
Rubric						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
到達目標1	経済体制の問題点や価格機構の限界について説明できる。		経済体制や価格機構について基本的な説明ができる。		経済体制や価格機構について基本的な説明ができない。	
到達目標2	国民経済計算や景気循環について経済資料に即した説明ができる。		国民経済計算や景気循環について基本的な説明ができる。		国民経済計算や景気循環について基本的な説明ができない。	
到達目標3	金融政策や財政政策について経済資料に即した説明ができる。		金融政策や財政政策について基本的な説明ができる。		金融政策や財政政策について基本的な説明ができない。	
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	この科目では、経済現象に関わる基本的な概念や理論、政府などの経済政策を包括的に学習する。					
Style	授業では、まず、経済学の基礎概念や理論を学ぶ。その上で、主にマクロ経済学の基本的論点について検討し、その概要と課題について説明できる能力を身に付ける。					
Notice	日常的に、家計・企業の経済問題や政府などの経済政策に主体的に関心を持つようにしてください。時事的な話題や自分の身の回りの経済現象に目を向け、授業との関連づけをしましょう。					
Course Plan						
2nd Semester	3rd Quarter	1st	「経済理論」「経済体制」		経済現象と経済理論、資本主義・社会主義経済体制について説明できる。	
		2nd	「経済理論」「経済体制」		経済現象と経済理論、資本主義・社会主義経済体制について説明できる。	
		3rd	家計・企業		消費と貯蓄、生産と分業などについて説明できる。	
		4th	価格機構		市場と価格、均衡、独占と寡占、市場の限界などについて説明できる。	
		5th	価格機構		市場と価格、均衡、独占と寡占、市場の限界などについて説明できる。	
		6th	マーケティング戦略		経済環境分析、標的市場選定について説明できる。	
		7th	マーケティング戦略		経済環境分析、標的市場選定について説明できる。	
		8th	ブランド戦略		ブランドの分類、機能、評価基準、導入戦略について説明できる。	
	4th Quarter	9th	国民所得		国民経済計算、国富について説明できる。	
		10th	景気循環		景気循環、景気動向指数について説明できる。	
		11th	景気循環		景気循環、景気動向指数について説明できる。	
		12th	金融政策		金融市場、金融政策について説明できる。	
		13th	財政政策		財政の機能、予算類型、国債問題、租税体系について説明できる。	
		14th	財政政策		財政の機能、予算類型、国債問題、租税体系について説明できる。	
		15th	後学期末試験			
		16th	答案返却時間			
Evaluation Method and Weight (%)						
	定期試験	小テスト	レポート・課題	発表	その他	Total
Subtotal	65	0	35	0	0	100
基礎的能力	55	0	25	0	0	80
専門的能力	10	0	10	0	0	20
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2015		Course Title	バイオテクノロジー		
Course Information								
Course Code		0039		Course Category		General / Elective		
Class Format		Lecture		Credits		Academic Credit: 2		
Department		一般教科（平成25年度以前入学生）		Student Grade		5th		
Term		Second Semester		Classes per Week		2		
Textbook and/or Teaching Materials		スタンダード生化学(裳華房)/図書館の化学関連の本						
Instructor								
Course Objectives								
1.生物機能についての化学的概念を理解できる。 2.環境問題についての化学的概念を理解できる。 3.生化学分析手法を理解できる。								
Rubric								
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
到達目標1		生物機能についての化学的概念を理解して説明でき、実際の問題に適用できる。		生物機能についての化学的概念を理解できる。		生物機能についての化学的概念を理解できない。		
到達目標2		環境問題についての化学的概念を理解して説明でき、実際の問題に適用できる。		環境機能についての化学的概念を理解できる。		環境機能についての化学的概念を理解できない。		
到達目標3		生化学分析手法の原理を理解して説明でき、実際の問題に適用できる。		生化学分析手法の原理を理解できる。		生化学分析手法の原理を理解できない。		
Assigned Department Objectives								
Teaching Method								
Outline		バイオテクノロジーは生物機能の化学的解明を行い、その成果を人類の生存や人間生活の向上を目指していくための学問である。本講義では、生物学の基礎的知識を身につけ、エンジニアとして必要な地球環境を考える力をつけることを目的とする。						
Style								
Notice		今までに学習した化学の内容を必ず復習し、理解してから本講義を受講すること。授業には計算機(電卓)を持ってくる。わからないことはそのままにしないで積極的に質問すること。自学自習の課題は全部で15回出すが、必ず自分で解決すること。						
Course Plan								
			Theme		Goals			
2nd Semester	3rd Quarter	1st	生命体の構造とメカニズム		(1)生命体の構成要素			
		2nd	生命体の構造とメカニズム		(2)エネルギー代謝のメカニズム			
		3rd	生命体の構造とメカニズム		(3)脂質の役割			
		4th	生命体の構造とメカニズム		(4)生体膜の機構			
		5th	生命体の構造とメカニズム		(5)炭水化物の役割			
		6th	生命体の構造とメカニズム		(6)アミノ酸 蛋白質の役割			
		7th	生命体の構造とメカニズム		(7)運動とエネルギー代謝			
		8th	生命体の構造とメカニズム		(7)運動とエネルギー代謝			
	4th Quarter	9th	中間試験					
		10th	環境		(1)温度、圧力の影響			
		11th	環境		(2)界面活性剤の機能と環境への影響			
		12th	環境		(3)大気汚染 (4)水質汚濁			
		13th	化学分析手法		(1)エネルギー消費量			
		14th	化学分析手法		(2)せっけん、合成洗剤			
		15th	化学分析手法		(3)COD			
		16th	期末試験 答案返却時間					
Evaluation Method and Weight (%)								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	小テスト	Total
Subtotal	50	0	0	0	50	0	0	100
基礎的能力	30	0	0	0	10	0	0	40
専門的能力	10	0	0	0	30	0	0	40
分野横断的能力	10	0	0	0	10	0	0	20

Anan College		Year	2015		Course Title	体育	
Course Information							
Course Code	0040			Course Category	General / Elective		
Class Format	Lecture			Credits	School Credit: 1		
Department	一般教科（平成25年度以前入学生）			Student Grade	5th		
Term	First Semester			Classes per Week	2		
Textbook and/or Teaching Materials							
Instructor	Arai Osamu						
Course Objectives							
1.互いに協力し合い、主体的に練習やゲームの方法を工夫して運動を実践できる。 2.自己の能力に応じて、運動の技能や体力を身につけることができる。 3.運動・活動中は安全に留意して行動できる。							
Rubric							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
到達目標1	自己及び、仲間の取るべき行動を適切に判断し、主体的に練習やゲームを工夫し、活動を円滑に実践できる。		自己の取るべき行動を判断し、他人と互いに協力しながら練習やゲームを工夫し、活動に参加できる。		自己の取るべき行動が判断できない。または他人と協力する姿勢が見られず、活動に参加できない。		
到達目標2	自己の能力を理解し、適切なプログラムを作成して運動の技能や体力を身につけることができる。		教員が指示したプログラムに従い、運動の技能や体力を身につけることができる。		教員の指示に従わず、運動の技能や体力を身につけることができない。		
到達目標3	活動中、自己のみならず仲間も安全に留意し、必要に応じて危険を回避する行動を取る事ができる。		活動中、自分の安全に留意し、必要に応じて危険を回避する行動を取る事ができる。		活動中、安全に留意して活動できない。		
Assigned Department Objectives							
Teaching Method							
Outline	運動を行うことにより、運動することの楽しさや喜びの実感、運動に必要な技能の習得及び体力の向上を図る。あわせて自ら意欲的に運動に取り組む姿勢や、生涯にわたって運動に親しむ態度を育てる。特に本授業では、生涯スポーツの観点から、自己の能力や興味関心に応じて種目を選択させ、運動を安全かつ楽しみながら実践できるよう、工夫・協力しながら学習することに重点を置く。						
Style							
Notice	普段から健康管理を心がけ、風邪などにより授業を見学・欠席することの無いよう気をつけてください。 学校指定の体操服で活動してください。 天候等、やむを得ない事情により、実施種目は変更されることがあります。 前期の体育大会は授業時数に含まれますので、欠席しないようにして下さい。						
Course Plan							
			Theme		Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	種目選択と実践		(1)各種目のルールを理解し説明できる。		
		2nd	種目選択と実践		(2)各種目の基本的な個人技能を習得する。		
		3rd	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		4th	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		5th	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		6th	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		7th	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		8th	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
	2nd Quarter	9th	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		10th	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		11th	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		12th	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		13th	体育大会(前期)		(1)参加する種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。		
		14th	体育大会(前期)		(1)参加する種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。		
		15th	体育大会(前期)		(1)参加する種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。		
		16th					
Evaluation Method and Weight (%)							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	Total
Subtotal	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	100	100

Anan College		Year	2015		Course Title	英語総合 2		
Course Information								
Course Code		0041		Course Category		General / Elective		
Class Format		Lecture		Credits		Academic Credit: 2		
Department		一般教科（平成25年度以前入学生）		Student Grade		5th		
Term		First Semester		Classes per Week		2		
Textbook and/or Teaching Materials		Reading Explorer 1 (CENGAGE Learning)						
Instructor		Katsufuji Kazuko						
Course Objectives								
1.教材(DVD及び英文エッセイ)で用いられている、英語表現を理解するために必要な語彙・語法を習得する。 2.英語DVDを視聴し、その概要を正確に理解し、説明することができる。 3.300～400語程度の英文エッセイを読んで、その概要を正確に把握し、説明することができる。								
Rubric								
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
到達目標1		教材で扱われた語彙・語法を適切に文脈の中で理解し、90%以上の正確さで自ら運用できる。		教材で扱われた語彙・語法を文脈の中で概ね理解したうえで、60～89%程度の正確さで使用できる。		教材で扱われた語彙・語法を適切に文脈の中で理解することが困難で、適切に使用することができない。		
到達目標2		2分程度の英語DVDを視聴し、その概要を正確に理解し、要点をまとめることができる。		2分程度の英語DVDを視聴し、その概要を正確に理解することができる。		2分程度の英語DVDを視聴し、その概要を正確に理解することができない。		
到達目標3		300～400語程度の英文エッセイを読んで、その概要を正確に理解し、要点をまとめることができる。		300～400語程度の英文エッセイを読んで、その概要を正確に理解することができる。		300～400語程度の英文エッセイを読んで、その概要を正確に理解することができない。		
Assigned Department Objectives								
Teaching Method								
Outline		科学・芸術・社会問題など様々な題材を取り上げた英語DVDを視聴し、特有の語彙・語法・表現に慣れるとともにその概要を理解する。さらに、その分野に関連する300～400語程度の英文を読んで、特有の語彙・語法・表現に慣れるとともに、その概要を理解する。						
Style								
Notice		1.授業には必ず辞書を持参すること。 2.単語テストを実施します。 3.【重要】自学自習用にノートを1冊用意すること。ルーズリーフ及びリングノートは認めません。						
Course Plan								
			Theme		Goals			
1st Semester	1st Quarter	1st	オリエンテーション		シラバスの内容を理解する。			
		2nd	Unit 1 A Amazing Animals ～ Unit 6 Small Worlds		(1)英語DVDの視聴を通して、概要を把握する。			
		3rd	Unit 1 A Amazing Animals ～ Unit 6 Small Worlds		(2)英文エッセイを読んで、概要を把握する。			
		4th	Unit 1 A Amazing Animals ～ Unit 6 Small Worlds		(3)特徴的な語彙・表現を理解する。			
		5th	Unit 1 A Amazing Animals ～ Unit 6 Small Worlds		(3)特徴的な語彙・表現を理解する。			
		6th	Unit 1 A Amazing Animals ～ Unit 6 Small Worlds		(3)特徴的な語彙・表現を理解する。			
		7th	Unit 1 A Amazing Animals ～ Unit 6 Small Worlds		(3)特徴的な語彙・表現を理解する。			
		8th	前期中間テスト					
	2nd Quarter	9th	Unit 7 Dinosaurs Ruled ～ Unit 12 Vanished!		(1)英語DVDの視聴を通して、概要を把握する。			
		10th	Unit 7 Dinosaurs Ruled ～ Unit 12 Vanished!		(2)英文エッセイを読んで、概要を把握する。			
		11th	Unit 7 Dinosaurs Ruled ～ Unit 12 Vanished!		(3)特徴的な語彙・表現を理解する。			
		12th	Unit 7 Dinosaurs Ruled ～ Unit 12 Vanished!		(3)特徴的な語彙・表現を理解する。			
		13th	Unit 7 Dinosaurs Ruled ～ Unit 12 Vanished!		(3)特徴的な語彙・表現を理解する。			
		14th	Unit 7 Dinosaurs Ruled ～ Unit 12 Vanished!		(3)特徴的な語彙・表現を理解する。			
		15th	Unit 7 Dinosaurs Ruled ～ Unit 12 Vanished!		(3)特徴的な語彙・表現を理解する。			
		16th	前期末試験 答案返却					
Evaluation Method and Weight (%)								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	小テスト	Total
Subtotal	70	0	0	0	15	0	15	100
基礎的能力	70	0	0	0	15	0	15	100

專門的能力	0	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2015		Course Title	日本語の表現	
Course Information							
Course Code	0042			Course Category	General / Elective		
Class Format	Lecture			Credits	Academic Credit: 2		
Department	一般教科（平成25年度以前入学生）			Student Grade	5th		
Term	First Semester			Classes per Week	2		
Textbook and/or Teaching Materials	高専日本語アビリティⅡ（阿南高専国語）						
Instructor	Nishikori Hirofumi						
Course Objectives							
1.敬語、表現ルールの基本を用い、ビジネス文書等を作成できる。 2.社会マナー・ルールの基本を用いた行動ができる。 3.表現法の基本を活用し、社会的なテーマについて情報収集・分類を行い、表現できる。 4.ファシリテーション、聴く技術について説明し、実践できる。							
Rubric							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
到達目標1	敬語、表現ルールの基礎知識を適切に用い、効果的なビジネス文書等を作成できる。		敬語、表現ルールの基礎知識を用い、ビジネス文書等を作成できる。		敬語、表現ルールの基礎知識に欠ける。		
到達目標2	社会マナー・ルールの基礎知識を適切に用いた効果的な行動ができる。		社会マナー・ルールの基礎知識を用いた行動ができる。		社会マナー・ルールの基本知識に欠ける。		
到達目標3	表現法の基礎知識を活用し、社会的なテーマについて情報収集・選択・構成を行い、効果的に表現できる。		表現法の基礎知識を活用し、社会的なテーマについて情報収集・選択・構成を行い、表現できる。		表現法の基礎知識に欠け、社会的なテーマについての情報収集・選択・構成による表現ができない。		
到達目標4	ファシリテーション、聴く技術について説明し、効果的に実践できる。		ファシリテーション、聴く技術について説明し、実践できる。		ファシリテーション、聴く技術について説明できない。		
Assigned Department Objectives							
Teaching Method							
Outline	社会で必要な口頭、文書表現能力の基礎を理解し、適切に使用して表現できる。						
Style							
Notice							
Course Plan							
			Theme		Goals		
1st Semester r	1st Quarter	1st	敬語		敬語の基本を説明し、運用できる。		
		2nd	電話		電話対応の基本形を説明し、運用できる。		
		3rd	記録		記録・報告の基本形について説明し、作成できる。		
		4th	通信文		通信文の基本形について説明し、作成できる。		
		5th	通信文		通信文の基本形について説明し、作成できる。		
		6th	短歌・俳句		短歌・俳句の基本を説明し、作成できる。		
		7th	短歌・俳句		短歌・俳句の基本を説明し、作成できる。		
		8th	社会へのエントリー		社会的視点・ルールに則った言動について説明し、実践できる。		
	2nd Quarter	9th	社会へのエントリー		社会的視点・ルールに則った言動について説明し、実践できる。		
		10th	社会へのエントリー		社会的視点・ルールに則った言動について説明し、実践できる。		
		11th	ファシリテーション		合意形成のためのファシリテーションについて説明し、実践できる。		
		12th	ファシリテーション		合意形成のためのファシリテーションについて説明し、実践できる。		
		13th	ファシリテーション		合意形成のためのファシリテーションについて説明し、実践できる。		
		14th	聴く技術		聴く技術について説明し、実践できる。		
		15th	学年末試験 答案返却				
		16th					
Evaluation Method and Weight (%)							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	Total
Subtotal	80	20	0	0	20	0	120
基礎的能力	60	10	0	0	20	0	90
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	20	10	0	0	0	0	30

Anan College		Year	2015		Course Title	英語の語彙・文法（3）	
Course Information							
Course Code		0043		Course Category		General / Elective	
Class Format		Lecture		Credits		School Credit: 1	
Department		一般教科（平成25年度以前入学生）		Student Grade		5th	
Term		First Semester		Classes per Week		2	
Textbook and/or Teaching Materials		Fast Pass for the TOEIC TEST（セングージラーニング株式会社）、Perfect Practice for the TOEIC TEST/TOEIC テストs					
Instructor		Taninaka Toshihiro					
Course Objectives							
1.教科書・語彙集で学習した語彙を理解し運用できるようにする。 2.教科書で取り上げた文法事項や構文を理解し運用できるようにする。 3.TOEICスコア425点以上に相当する読解力を身に付ける。 4.TOEICスコア425点以上に相当するリスニング力を身に付ける。							
Rubric							
		理想的な到達レベル		標準的な到達レベル		未到達レベル	
到達目標1		教科書・参考書などの教材で学習した語彙・表現を適切な文脈において理解し自ら運用できる。		教科書・参考書などの教材で学習した語彙・表現を適切な文脈において理解できる。		左記のレベルに達しない。	
到達目標2		教科書・参考書などの教材で学習した英文法項目や構文を適切な文脈において理解し自ら運用できる。		教科書・参考書などの教材で学習した英文法項目や構文を適切な文脈において理解できる。		左記のレベルに達しない。	
到達目標3		教科書で学習したものと同程度の読解において十分理解しTOEICで425点以上を取得できる。		教科書で学習したものと同程度の読解において十分理解しTOEICで375点以上を取得できる。		左記のレベルに達しない。	
到達目標4		教科書で学習したものと同程度のリスニングにおいて十分理解しTOEICで425点以上を取得できる。		教科書で学習したものと同程度のリスニングにおいて十分理解しTOEICで375点以上を取得できる。		左記のレベルに達しない。	
Assigned Department Objectives							
Teaching Method							
Outline		TOEICスコア425点以上の取得を目指し、英語の語彙力、文法力、読解力、リスニング力の向上を図る。					
Style							
Notice		1.授業には辞書（電子辞書可）を持参すること 2.オリエンテーションで説明するやり方で十分予習・復習を行うこと。 3.【重要】TOEICスコアを成績に含めるので前期に実施されるTOEICを必ず受験すること。（獲得スコアが350点未満の場合、総合評価の「その他」の10点分が与えられない。）					
Course Plan							
			Theme		Goals		
1st Semester r	1st Quarter	1st	オリエンテーション		シラバスの確認、学習方法の解説		
		2nd	Unit 1~6		TOEICテストで425点を獲得するために必要な読解スピードと読解力を獲得。 TOEICテストで扱われる英文法や英文構造理解する。 TOEICテストで扱われる語彙を暗記する。 TOEICテストで425点を取るために必要なリスニング力を獲得できる。		
		3rd	Unit 1~6		TOEICテストで425点を獲得するために必要な読解スピードと読解力を獲得。 TOEICテストで扱われる英文法や英文構造理解する。 TOEICテストで扱われる語彙を暗記する。 TOEICテストで425点を取るために必要なリスニング力を獲得できる。		
		4th	Unit 1~6		TOEICテストで425点を獲得するために必要な読解スピードと読解力を獲得。 TOEICテストで扱われる英文法や英文構造理解する。 TOEICテストで扱われる語彙を暗記する。 TOEICテストで425点を取るために必要なリスニング力を獲得できる。		
		5th	Unit 1~6		TOEICテストで425点を獲得するために必要な読解スピードと読解力を獲得。 TOEICテストで扱われる英文法や英文構造理解する。 TOEICテストで扱われる語彙を暗記する。 TOEICテストで425点を取るために必要なリスニング力を獲得できる。		
		6th	Unit 1~6		TOEICテストで425点を獲得するために必要な読解スピードと読解力を獲得。 TOEICテストで扱われる英文法や英文構造理解する。 TOEICテストで扱われる語彙を暗記する。 TOEICテストで425点を取るために必要なリスニング力を獲得できる。		
		7th	Unit 1~6		TOEICテストで425点を獲得するために必要な読解スピードと読解力を獲得。 TOEICテストで扱われる英文法や英文構造理解する。 TOEICテストで扱われる語彙を暗記する。 TOEICテストで425点を取るために必要なリスニング力を獲得できる。		

		8th	前期中間試験	
	2nd Quarter	9th	Unit 7~12	TOEICテストで425点を獲得するために必要な解読スピードと読解力を獲得。 TOEICテストで扱われる英文法や英文構造理解する。 TOEICテストで扱われる語彙を暗記する。 TOEICテストで425点を取るために必要なリスニング力を獲得できる。
		10th	Unit 7~12	TOEICテストで425点を獲得するために必要な解読スピードと読解力を獲得。 TOEICテストで扱われる英文法や英文構造理解する。 TOEICテストで扱われる語彙を暗記する。 TOEICテストで425点を取るために必要なリスニング力を獲得できる。
		11th	Unit 7~12	TOEICテストで425点を獲得するために必要な解読スピードと読解力を獲得。 TOEICテストで扱われる英文法や英文構造理解する。 TOEICテストで扱われる語彙を暗記する。 TOEICテストで425点を取るために必要なリスニング力を獲得できる。。
		12th	Unit 7~12	TOEICテストで425点を獲得するために必要な解読スピードと読解力を獲得。 TOEICテストで扱われる英文法や英文構造理解する。 TOEICテストで扱われる語彙を暗記する。 TOEICテストで425点を取るために必要なリスニング力を獲得できる。
		13th	Unit 7~12	TOEICテストで425点を獲得するために必要な解読スピードと読解力を獲得。 TOEICテストで扱われる英文法や英文構造理解する。 TOEICテストで扱われる語彙を暗記する。 TOEICテストで425点を取るために必要なリスニング力を獲得できる。
		14th	Unit 7~12	TOEICテストで425点を獲得するために必要な解読スピードと読解力を獲得。 TOEICテストで扱われる英文法や英文構造理解する。 TOEICテストで扱われる語彙を暗記する。 TOEICテストで425点を取るために必要なリスニング力を獲得できる。
		15th	Unit 7~12	TOEICテストで425点を獲得するために必要な解読スピードと読解力を獲得。 TOEICテストで扱われる英文法や英文構造理解する。 TOEICテストで扱われる語彙を暗記する。 TOEICテストで425点を取るために必要なリスニング力を獲得できる。
		16th	前期期末試験	

Evaluation Method and Weight (%)

	定期試験	小テスト	レポート・課題	発表	その他	Total
Subtotal	60	10	20	0	10	100
基礎的能力	60	10	20	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2015		Course Title	英語の語彙・文法（４）
Course Information						
Course Code		0044		Course Category		General / Elective
Class Format		Lecture		Credits		School Credit: 1
Department		一般教科（平成25年度以前入学生）		Student Grade		5th
Term		Second Semester		Classes per Week		2
Textbook and/or Teaching Materials		THE TOEIC TEST TRAINER TARGET 470,Masahiko Yamaguchi,George W.Pifer,Cengage Learning/TOEIC テスト新公式問題集 vol.1~3				
Instructor		Fujii Hiromi				
Course Objectives						
1.TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に適切に対応することができる。 2.教科書や語彙集で取り上げた語彙・文法、決まり文句の60%以上を記憶し、正しく運用できる。 3.TOEICスコア375~450点、もしくはそれ以上を取得できる。						
Rubric						
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
到達目標1		TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に精通し、適切な対応ができる。		TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応することができる。		TOEICの出題傾向を把握できず、出題形式に不慣れで、各パートの問題形式に対応することができない。
到達目標2		教科書や語彙集で取り上げた語彙・文法、決まり文句の90%以上を記憶し、正しく運用できる。		教科書や語彙集で取り上げた語彙・文法、決まり文句の60%以上を記憶し、ほぼ正しく運用できる。		教科書や語彙集で取り上げた語彙・文法、決まり文句の記憶が60%未満で、運用力が低い。
到達目標3		TOEICスコア450点以上を取得できる。		TOEICスコア375~445点を取得できる。		TOEICスコア375点以上を満たすことができない。
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline		TOEIC実践形式の問題演習を通して語彙力、文法力、聴解力、読解力を総合的に向上させ、450点以上のTOEICスコア達成を目指す。ダイアログ式の単語・熟語集を用いて、単語や熟語を記憶し、適切に運用する能力を習得する。				
Style						
Notice		1.必ず予習をして授業に臨むこと。 2.授業には辞書（電子辞書可）を持参すること。 3.英単語・ダイアログ1200の小テストを実施するので日頃から計画的に取り組んでおくこと。 4.【重要】後学期中にTOEIC IPテストを必ず受験すること。（375点未満は評価割合の「その他」の得点が与えられない。）				
Course Plan						
			Theme		Goals	
2nd Semester	3rd Quarter	1st	オリエンテーション			
		2nd	Unit1 ~ Unit6		(1)TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に適切に対応することができる。	
		3rd	Unit1 ~ Unit6		(2)教科書や語彙集にある予定、数量を訪ねる、命令・依頼、広告宣伝、時間を尋ねる、場所を尋ねる、などのコンテキストで用いられる語彙・構文・決まり文句の60%以上を記憶しほぼ正しく運用できる。	
		4th	Unit1 ~ Unit6		(2)教科書や語彙集にある予定、数量を訪ねる、命令・依頼、広告宣伝、時間を尋ねる、場所を尋ねる、などのコンテキストで用いられる語彙・構文・決まり文句の60%以上を記憶しほぼ正しく運用できる。	
		5th	Unit1 ~ Unit6		(2)教科書や語彙集にある予定、数量を訪ねる、命令・依頼、広告宣伝、時間を尋ねる、場所を尋ねる、などのコンテキストで用いられる語彙・構文・決まり文句の60%以上を記憶しほぼ正しく運用できる。	
		6th	Unit1 ~ Unit6		(2)教科書や語彙集にある予定、数量を訪ねる、命令・依頼、広告宣伝、時間を尋ねる、場所を尋ねる、などのコンテキストで用いられる語彙・構文・決まり文句の60%以上を記憶しほぼ正しく運用できる。	
		7th	Unit1 ~ Unit6		(2)教科書や語彙集にある予定、数量を訪ねる、命令・依頼、広告宣伝、時間を尋ねる、場所を尋ねる、などのコンテキストで用いられる語彙・構文・決まり文句の60%以上を記憶しほぼ正しく運用できる。	
		8th	中間テスト			
	4th Quarter	9th	Unit7 ~ Unit12		(1)引き続きTOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に適切に対応することができる。	
		10th	Unit7 ~ Unit12		(2)教科書や語彙集にある確認、留守電、アドバイス、誘い、申し出、講演者紹介などのコンテキストで用いられる語彙・構文・決まり文句の60%以上を記憶しほぼ正しく運用できる。	
		11th	Unit7 ~ Unit12		(2)教科書や語彙集にある確認、留守電、アドバイス、誘い、申し出、講演者紹介などのコンテキストで用いられる語彙・構文・決まり文句の60%以上を記憶しほぼ正しく運用できる。	
		12th	Unit7 ~ Unit12		(2)教科書や語彙集にある確認、留守電、アドバイス、誘い、申し出、講演者紹介などのコンテキストで用いられる語彙・構文・決まり文句の60%以上を記憶しほぼ正しく運用できる。	

		13th	Unit7 ~ Unit12	(2)教科書や語彙集にある確認、留守電、アドバイス、誘い、申し出、講演者紹介などのコンテキストで用いられる語彙・構文・決まり文句の60%以上を記憶しほぼ正しく運用できる。
		14th	Unit7 ~ Unit12	(2)教科書や語彙集にある確認、留守電、アドバイス、誘い、申し出、講演者紹介などのコンテキストで用いられる語彙・構文・決まり文句の60%以上を記憶しほぼ正しく運用できる。
		15th	Unit7 ~ Unit12	(2)教科書や語彙集にある確認、留守電、アドバイス、誘い、申し出、講演者紹介などのコンテキストで用いられる語彙・構文・決まり文句の60%以上を記憶しほぼ正しく運用できる。
		16th	期末テスト	

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	小テスト	Total
Subtotal	60	0	0	0	20	10	10	100
基礎的能力	60	0	0	0	20	10	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2015		Course Title	中国語		
Course Information								
Course Code		0045			Course Category		General / Elective	
Class Format		Lecture			Credits		School Credit: 1	
Department		一般教科（平成25年度以前入学生）			Student Grade		5th	
Term		Second Semester			Classes per Week		2	
Textbook and/or Teaching Materials		中国語 初めの一步(白水社)/						
Instructor		Zheng Tao						
Course Objectives								
1.中国の文化と生活に関する基礎的な知識を理解し、説明できる。 2.中国語の発音と基本な文法を理解し、説明できる。 3.中国語の基礎的な日常会話ができる。								
Rubric								
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
到達目標1		中国語の社会事情、文化、生活に関することについて興味を持ち、理解できる。		中国の社会事情、文化、生活に関することについてある程度理解できる。		中国の社会事情、文化、生活に関することについて理解できない。		
到達目標2		発音記号に従って、中国語を正しく発音できる。		発音記号に従って、中国語の発音ができる。		発音記号に従って、中国語を発音できない。		
到達目標3		簡単な日常会話が流暢にできる。		簡単な日常会話ができる。		簡単な日常会話ができない。		
Assigned Department Objectives								
Teaching Method								
Outline		中国の社会事情、生活・文化に関する基礎的な知識を理解するとともに、中国語の発音と表現に関する基礎知識、及び基礎的な会話を練習する。						
Style		授業は会話に関する学習と練習を基本とする。						
Notice		外国語の勉強は話すことが重要なので、授業中、積極的な態度で声を出すこと。						
Course Plan								
			Theme		Goals			
2nd Semester	3rd Quarter	1st	ガイダンス		シラバスによって、到達目標・評価割合・達成度基準などを理解する。			
		2nd	オリエンテーション		中国の社会事情、文化・生活、中国語の基本に関することを理解する。			
		3rd	中国語の基礎：発音		発音記号に従って、中国語の発音ができる。			
		4th	中国語の基礎：発音		発音記号に従って、中国語の発音ができる。			
		5th	中国語の会話入門		簡単な日常会話ができる。			
		6th	中国語の会話入門		簡単な日常会話ができる。			
		7th	会話の練習と小テスト		簡単な日常会話ができる。			
		8th	会話の練習と小テスト		簡単な日常会話ができる。			
	4th Quarter	9th	会話の練習と小テスト		簡単な日常会話ができる。			
		10th	会話の練習と小テスト		簡単な日常会話ができる。			
		11th	後期中間試験					
		12th	会話と小テスト		簡単な日常会話ができる。			
		13th	会話と小テスト		簡単な日常会話ができる。			
		14th	会話と小テスト		簡単な日常会話ができる。			
		15th	会話と小テスト		簡単な日常会話ができる。			
		16th	後期期末試験					
Evaluation Method and Weight (%)								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	小テスト	Total
Subtotal	60	0	0	0	0	20	20	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	20	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	0